

# リウッドデッキ 200

## チェックシート

組立・施工時、本文中に表示している  
「チェックマーク 」の確認をしてください。



	項 目	ページ	チェック欄
①	躯体やサッシ枠とデッキ材は8mm、デッキ材を連結する場合は、5mm離して固定しましたか？	1	
②	大引きを固定する間隔を守りましたか？	7~17	
③	着脱式デッキ材押え金具の向きを確認しましたか？	28	
④	デッキ材を固定する固定ピンの使用位置を守りましたか？	29	



**ドリルねじを変更しました。**

本説明書は専門知識を有する業者様向けの内容となっております。  
誤った方法で作業を行うと、不具合につながるおそれがあります。  
作業には危険が伴いますので、専門知識を有する業者様が行ってください。

## 目 次

■ 組立・施工の前に	P.1
■ 施工手順	P.2
■ 全体構成図	P.4
■ 使用工具	P.4
■ 注意事項	P.5
■ 大引き、束柱位置	P.7
■ 寸法図	P.14
■ 断面詳細図	P.18
■ 基本納まり図	P.19
■ 側面幕板の加工	P.20
■ 基礎部の施工	P.22
■ 高さ調整について	P.22
■ 大引き・束柱・根がらみの組立・取付	P.23
■ 側面幕板の取付	P.27
■ デッキ材の取付	P.28
■ 正面幕板の取付	P.33
■ 端部の幅調整	P.37
■ 幕板連結部の取付	P.38
■ 変形対応【奥行違い】(オプション)	P.39
■ 壁側目地カバーの取付(オプション)	P.41
■ 小口ふさぎ材の取付(オプション)	P.42
■ たて連結目地ふさぎ材の取付(オプション)	P.43
■ メンテナンス用デッキ材押え金具の取付(オプション)	P.44
 ■ 同梱一覧	P.46
 ■ オプション一覧	P.49

## ■組立・施工の前に

このたびは、YKK AP 商品をご採用いただき、誠にありがとうございます。

### 組立・施工の前に…

商品を正しく組立・施工していただくために、説明書の内容をご確認ください。  
商品の組立・施工については必ず本説明書に従ってください。

### 組立・施工の後に…

取扱説明書・使い方&お手入れガイドブックをお施主様にお渡しください。

## お願い

- 組立ては所定のねじを使用して最後まで締付けてください。  
締付け不良は事故の原因になります。
- ユニットの組替えなどにより製作する場合は、製作範囲を確認したうえで行ってください。  
製作範囲を超えると、事故(人身・物損)の原因になります。
- 本商品は、一般住宅の一階用です。一階を超える場所への取付けは行わないでください。
- 束柱ブラケットの固定はコンクリート強度18N/㎡以上の基礎石・土間コンクリートに行ってください。
- 母屋の屋根から雪やつららが直接落ちる場所には設置しないでください。  
雪やつららの落下により製品が破損するおそれがあります。
- 施工後は、デッキ表面に異物(金属の切粉など)が残らないよう、清掃してください。

## デッキ材の保管について

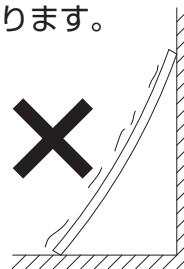
- デッキ材は直射日光を避けて保管してください。
- デッキ材は平らな場所で保管してください。  
下図の状態での保管は、反り・曲がりなどの原因になります。



部分的な支えによる保管



平らでない場所での保管



立て掛けるの保管

## お願い

- 躯体やサッシ枠とデッキ材のすき間は8mm以上離してください。
- デッキ材を長さ方向に連結する時は、連結部を5mm離してください。
- サッシ下枠との基本納まりは「基本納まり図」P.19を参照してください。
- デッキ単体のたて連結やコーナー突合せはしないでください。  
連結部のデッキ小口部の高さに段差ができるおそれがあります。



# 2 施工手順

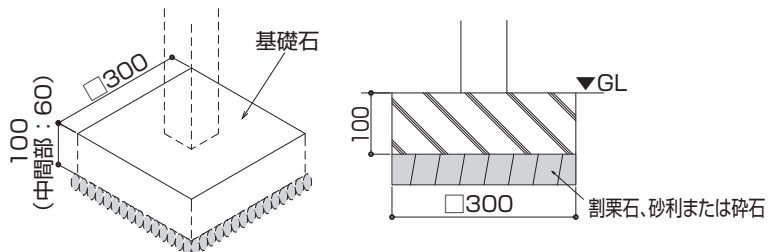
## ■施工手順

### ①作業段取り

### ②束柱位置墨出し (P.7~P.13、P.22)

土間コンクリートの場合：束柱位置墨出し

基礎石の場合：束柱位置墨出し→掘削→割栗、砂利または碎石→基礎石レベル・確認など

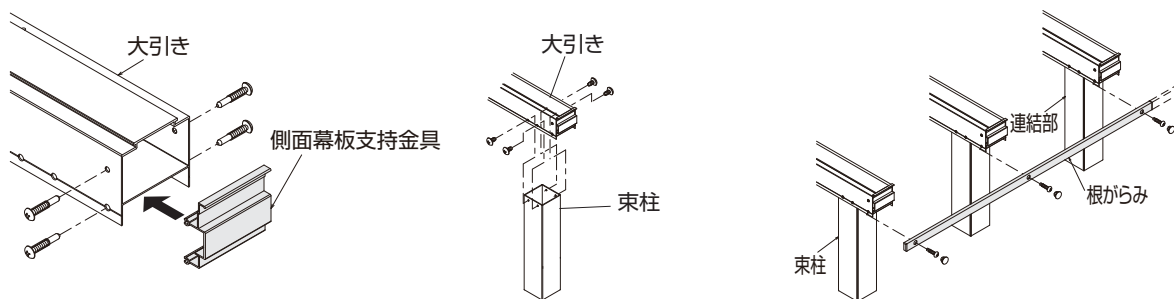


### ③大引き・束柱・根がらみの組立・取付 (P.23・P.24)

大引き小口への部品付

大引きと束柱の組立

根がらみ取付



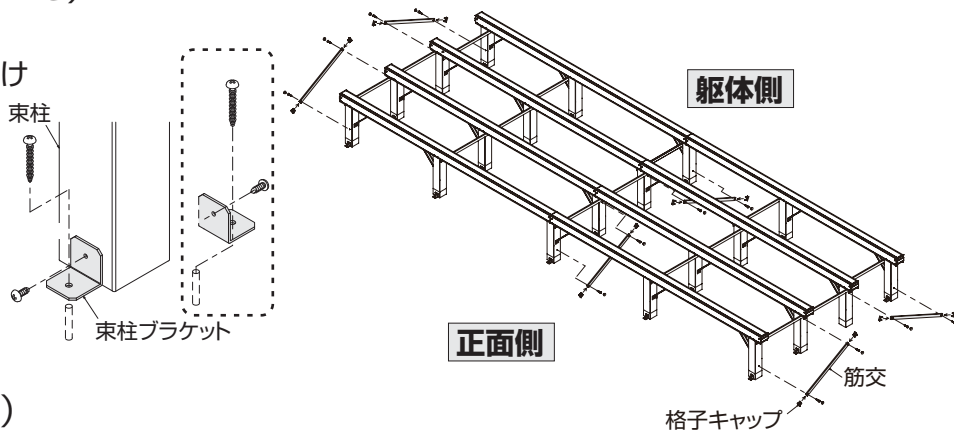
### ④束柱の固定 (P.25・P.26)

束柱を墨出し位置に配置

コンクリートドリルで穴あけ

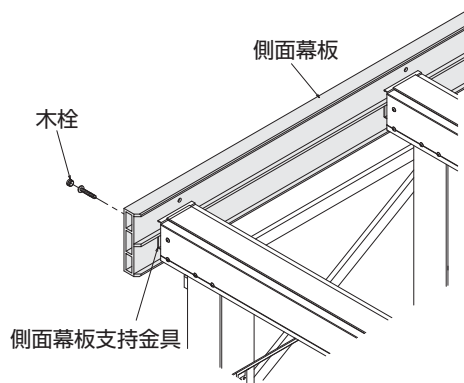
コンクリートねじで固定

大引き高さの確認

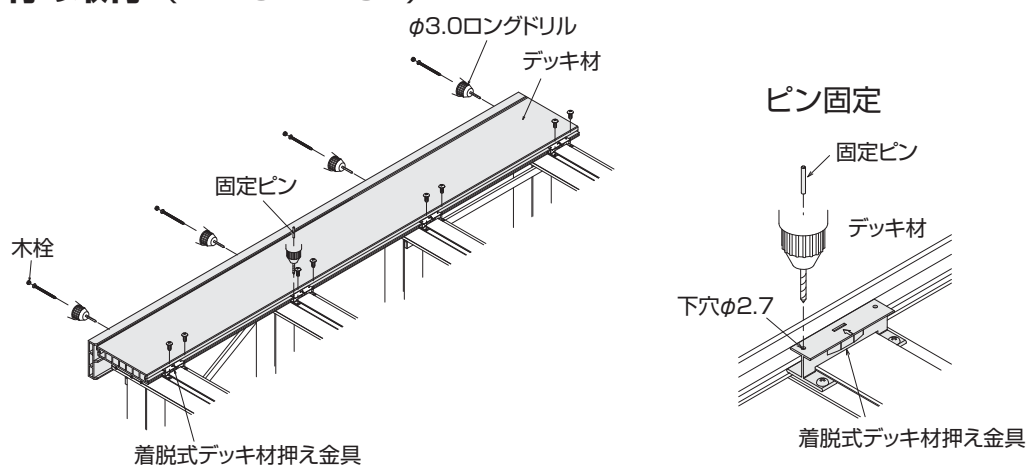


### ⑤側面幕板の取付 (P.27)

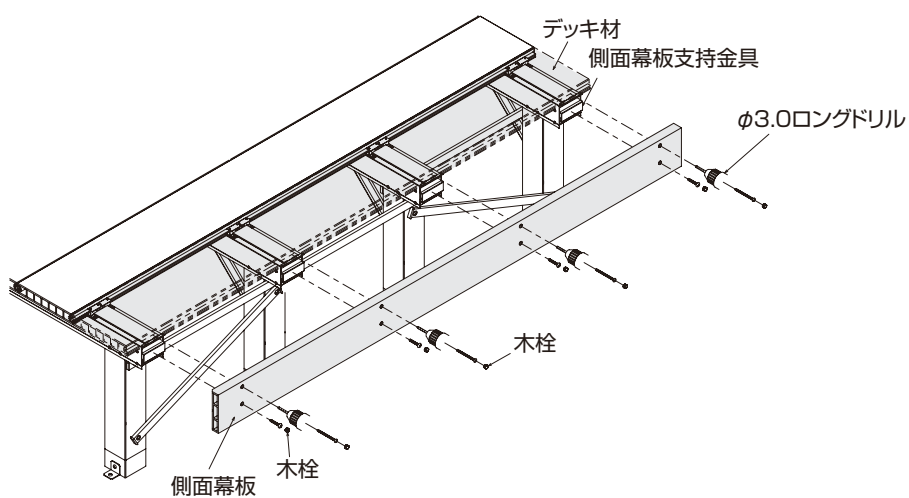
張始め側の側面幕板固定



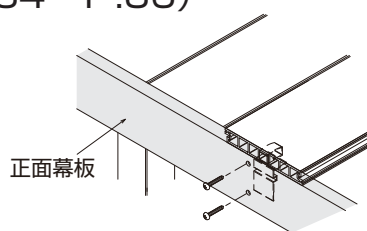
### ⑥ デッキ材の取付 (P.28~P.31)



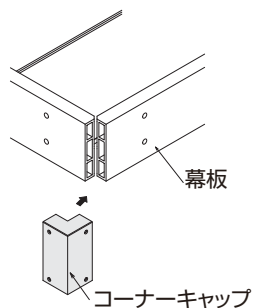
### ⑦ 張終り側幕板の取付 (P.32)



### ⑧ 正面幕板の固定 (P.34~P.36)



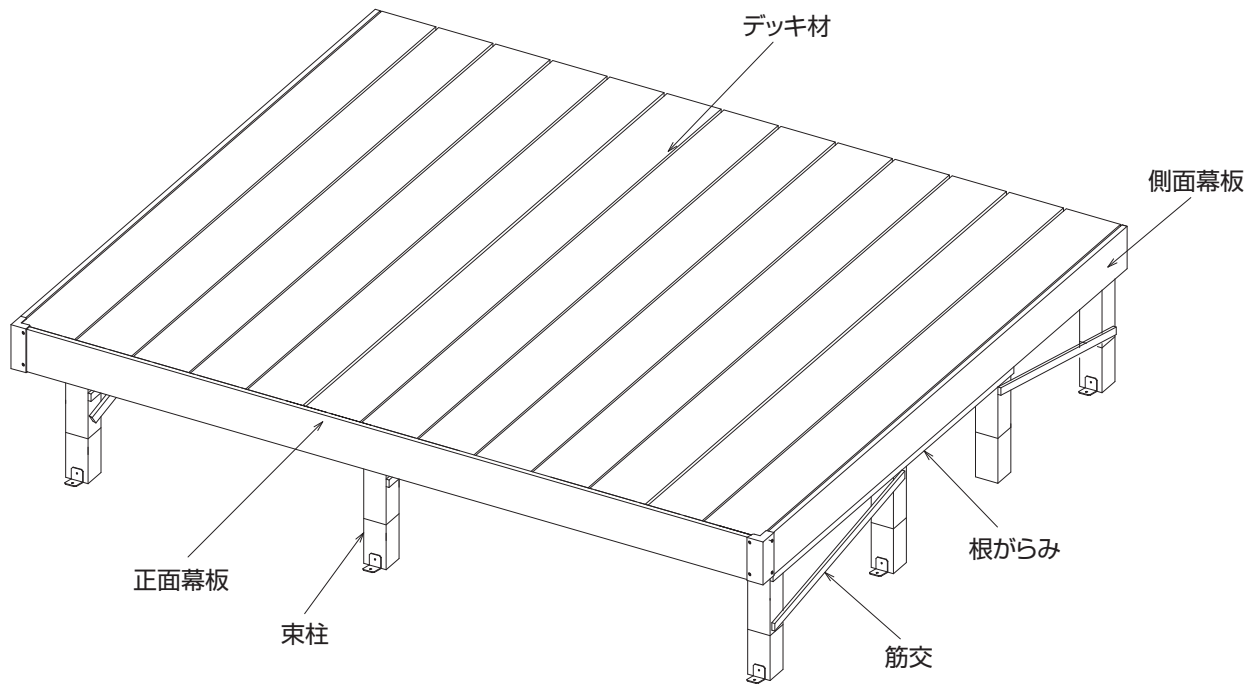
### ⑨ コーナーキャップの取付 (P.36)



### ⑩ 木栓の取付 (P.36) 終了

# 4 全体構成図／使用工具

## ■全体構成図



図は、間口1.5間・奥行6尺ロング柱タイプです。

## ■使用工具

- ⊕ドライバー ● 電動ドライバー
- 電動ドリル(ドリル径φ2.7、φ3.0ロングドリル、φ3.5、φ4.5、φ5.0、φ6.0、φ10.0)
- 電動コンクリートドリル ● コンクリートドリル(φ4.3コンクリートドリル)
- 電動ノコギリ(部材切詰め時) ● くい切りや金ノコ(幕板コーナー面取り用)
- 丸やすり(φ5~8) ● 木づち ● 水準器 ● スパナ(M6用10mm)
- スペーサー(目地幅調整用)：別途手配品

### お願い

電動ドライバーはねじの種類や呼び径にあった適正なクラッチ付きの電動ドライバーを選定し、ねじの締めすぎによる頭飛びやねじの破断、ねじの空転を防止してください。  
インパクトドライバーの使用は避けてください。  
止むを得ずご使用の場合は、ねじの締めすぎには十分ご注意ください。

## ■切断する材質ごとの電動ノコギリの推奨ノコ歯

- リウッド  
以下の条件を満たしたタテ挽き用の木材用ノコ歯を使用してください。
  - チップソー ● 歯数が少ない ● 切削屑の逃げポケットが大きい
- アルミ  
アルミ用ノコ歯を使用してください。

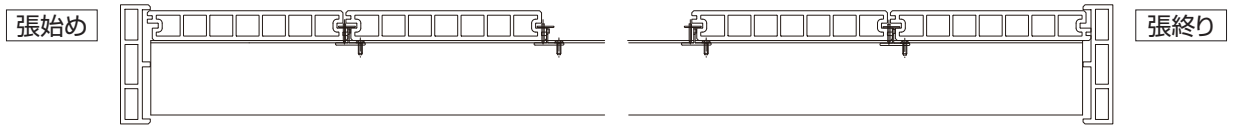
## ■注意事項

### デッキ材の張り方

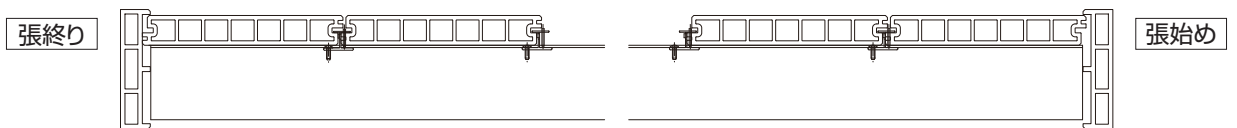
デッキ材の納まり方によって、デッキ材を左側から張る場合と右側から張る場合に応じてデッキ材の向きを下図の様に合わせてください。

(本説明書では、左側から張る場合で説明しています。)

#### [左側から張る場合]



#### [右側から張る場合]

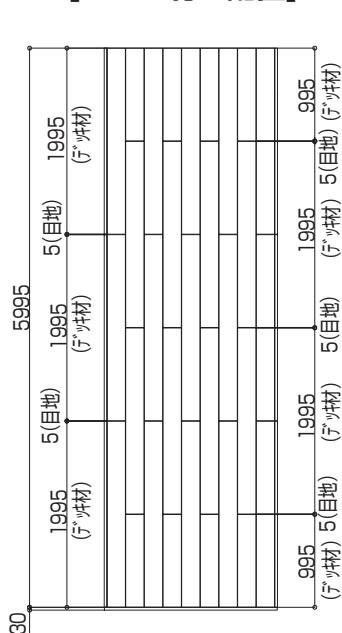


### デッキ材の長さ方向の連結

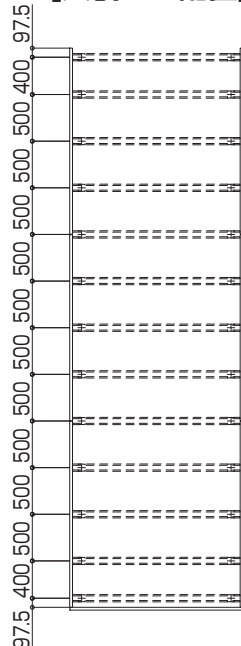
- デッキ材はL=2395mm以下を使用してください。  
[9尺(2695mm)のデッキ材は規格の単体たて張りのみの使用としてください。]
- デッキ材の連結部は大引きの中心にしてください。
- デッキ材の連結部は5mm離してください。
- デッキ材の張り方は図のように千鳥にしてください。
- 大引きの間隔は625mm以下、大引きを支える束柱の間隔は1800mm以下にしてください。  
(床の強度仕様：1800N/m<sup>2</sup>の場合)
- 大引きからデッキ材を持出す寸法は大引きの芯から50～150mmの範囲で設置してください。
- 正面幕板を取付ける場合、大引きからデッキ材を持出す寸法は、大引きの芯から97.5mmに設置してください。
- デッキ材は必ず大引き2本以上に固定してください。
- デッキ材ごとに1箇所固定ピンを使用してください。
- 安全性確保のため、連結部のデッキ材小口にC0.3程度の面取りをかけてください。

#### 1.大引き500mmピッチの千鳥張りの例

[デッキ材の配置]

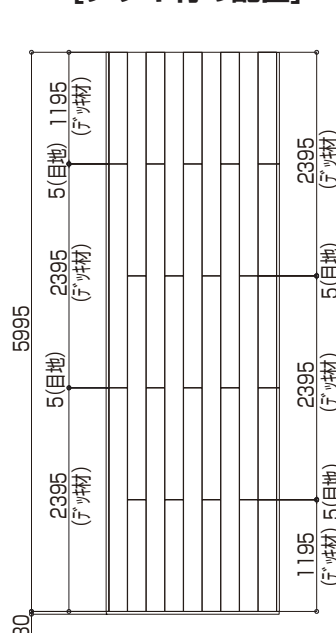


[大引きの配置]

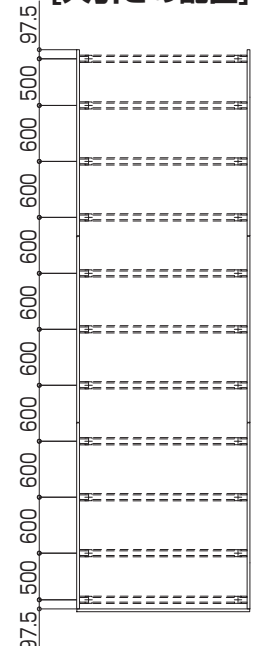


#### 2.大引き600mmピッチの千鳥張りの例

[デッキ材の配置]



[大引きの配置]



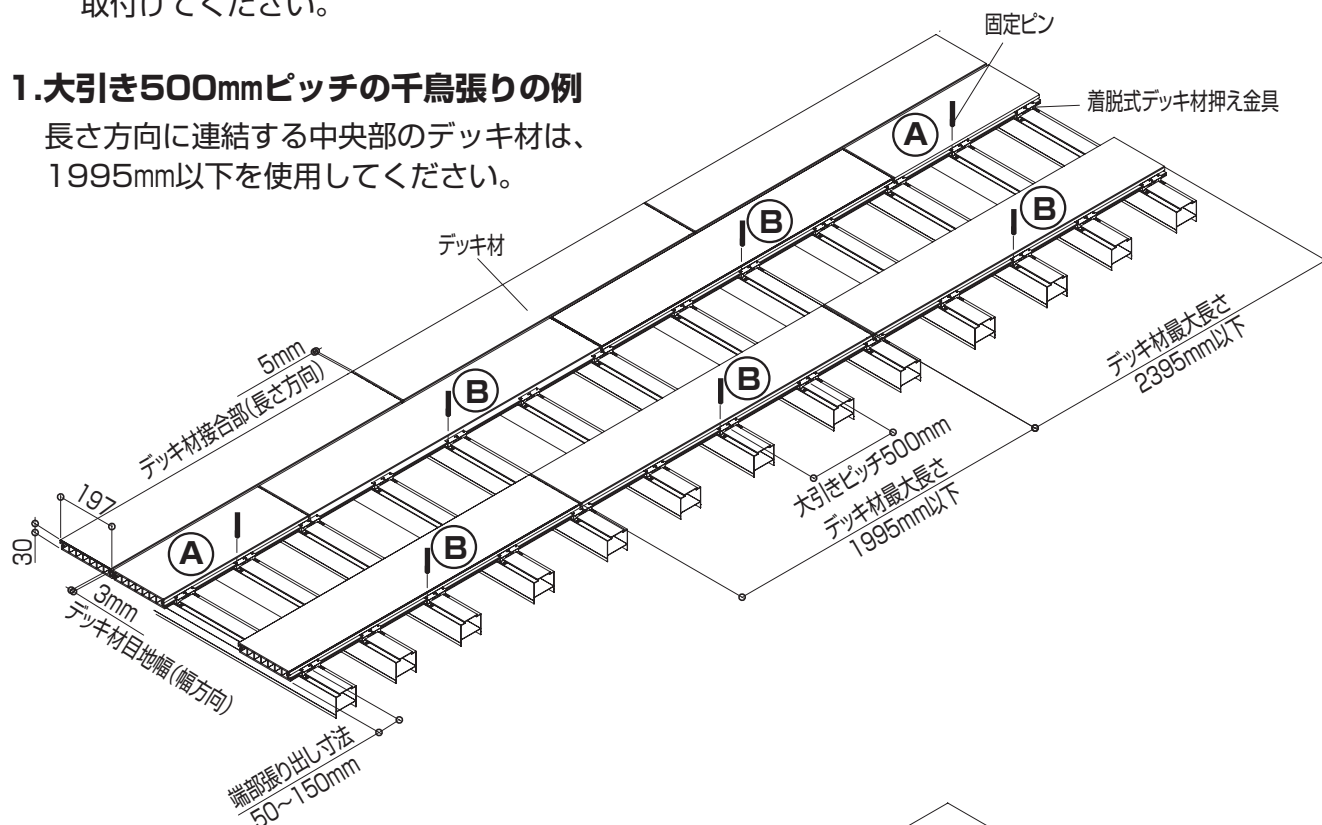


## 固定ピンの取付位置

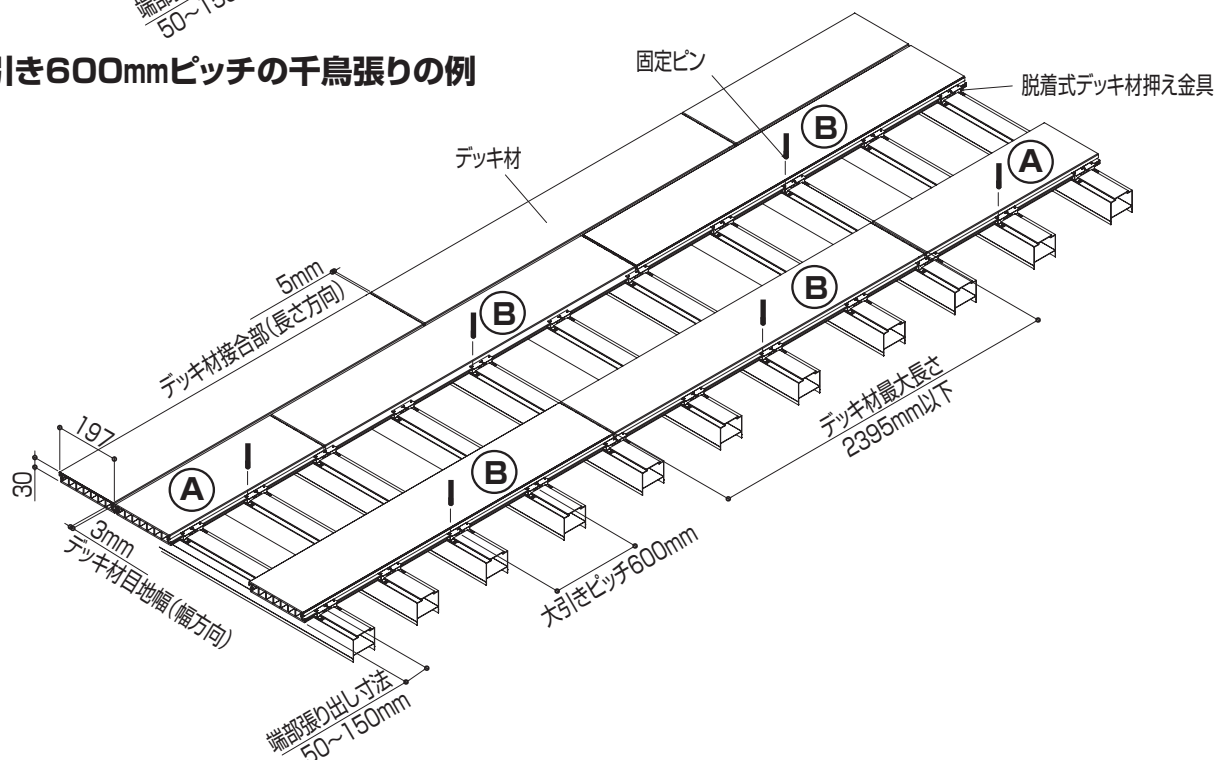
- (A) 長さ方向の端部で大引き3、4本にまたがるデッキ材は、端部から2本目の大引きの着脱式デッキ材押え金具に固定ピンを取付けてください。
- (B) 長さ方向の端部で大引き5本にまたがるデッキ材および中間部のデッキ材は、中央部の大引きの着脱式デッキ材押え金具に固定ピンを取付けてください。
- 長さ方向の端部で大引き2本にまたがるデッキ材は、端部側の大引き上の着脱式デッキ材押え金具に固定ピンを取付けてください。
- 長さ方向の端部で大引き6本にまたがるデッキ材は、端部から4本目の大引きの着脱式デッキ材押え金具に固定ピンを取付けてください。

## 1. 大引き500mmピッチの千鳥張りの例

長さ方向に連結する中央部のデッキ材は、1995mm以下を使用してください。



## 2. 大引き600mmピッチの千鳥張りの例



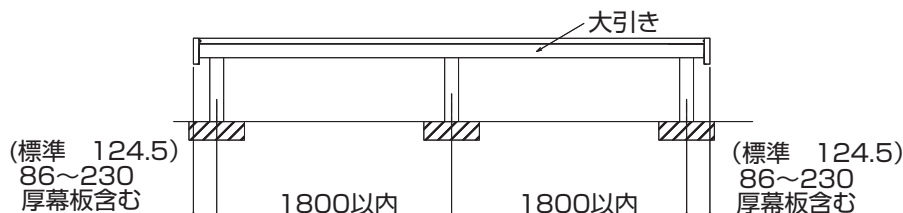


## ■大引き、束柱位置

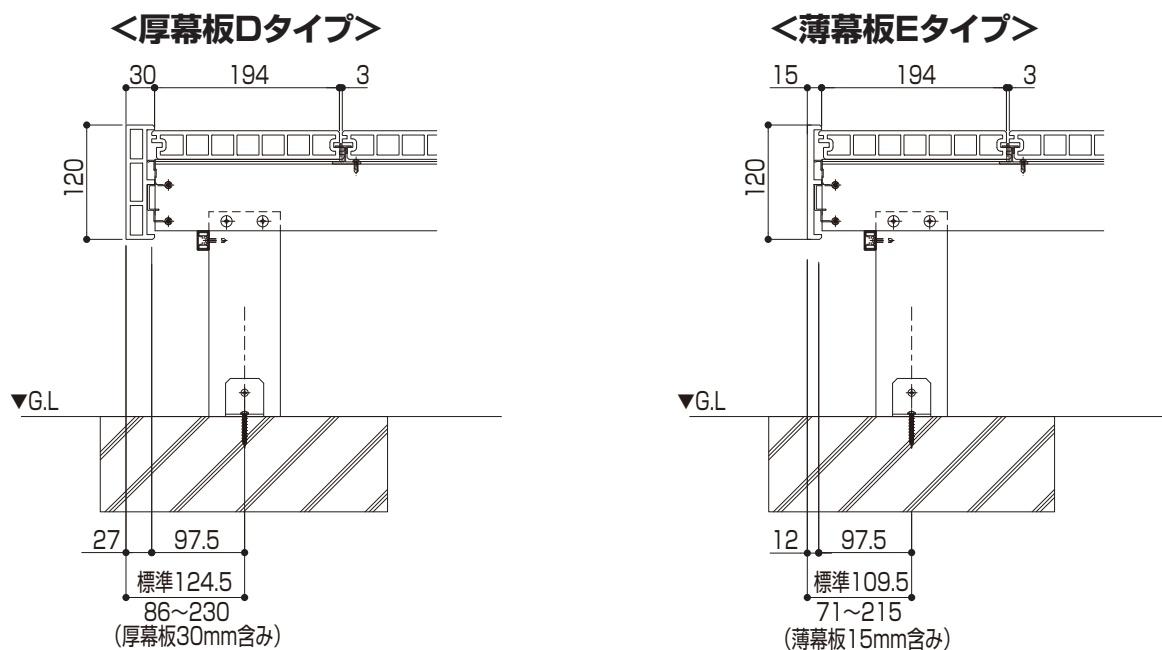
### 大引き、束柱を移動する場合の注意



- 大引き・束柱の位置は、P.8~P.13を標準としてください。
- 大引きに束柱を取付ける場合の束柱の移動は、束柱間が1800mmを超えない範囲で行ってください。また、両端の束柱は厚幕板の外から束柱中心まで86~230mm(標準124.5mm)以内に設置してください。
- 大引きを連結する場合、大引き連結部の真下に必ず束柱を配置してください。
- 大引きの移動は、大引き間の芯々寸法が625mm以内にしてください。(規格奥行3尺に段床ユニットが付く場合のみ、大引き間の芯々寸法を650mm以内にしてください。)大引きとデッキ材端部までの寸法は正面側は72.5~150mm、躯体側は50~150mmの範囲で設置可能です。
- デッキフェンスを取付ける場合、正面側の大引きからデッキ材端部までの寸法は97.5~150mmの範囲で設置可能です。
- 千鳥張りで奥行方向に連結する場合、デッキ材連結部の真下に必ず大引きを設置してください。
- 躯体やサッシ枠とデッキ材の間は8mm以上離してください。



### ●大引きの束柱移動範囲



### お願い

戸袋が付いている場合、着脱式デッキ材押え金具を取付ける作業と戸袋が干渉しないよう下記事項を確認し、大引きの位置を決めてください。

(大引きの位置はデッキ材端部から50~150mmの範囲で移動可能)

- ① 一般的に戸袋下部がサッシ下枠より下がっているため、戸袋下部の高さを確認する。
- ② 戸袋の出寸法を確認する。
- ③ 施工するデッキ面の高さを確認する。
- ④ 戸袋の出寸法が大きい時は戸袋と干渉しない位置に大引きを追加してください。

# 8 大引き、束柱位置 (単位: mm)

図の上部が躯体側となります。

表中の寸法は、幕板外面(幕板寸法30mm)からの寸法です。( )内寸法は段床ユニットが付く場合です。

間口 奥行D W	1間	1.5間	2間
3R 920			
4R 1220			
5R 1520			
6R 1820			
7R 2120			
8R 2420			

▶デッキ材を固定する為の着脱式デッキ材押え金具をピン固定とする位置を表しています。

図の上部が躯体側となります。  
 表中の寸法は、幕板外面(幕板寸法30mm)からの寸法です。

間口 W 奥行D	間口		
	1間 1851	1.5間 2651	2間 3651
9尺 2720			
10尺 3020			
12尺 3620			

奥行呼称30と36のデッキ材は千鳥張りとします。

▶デッキ材を固定する為の着脱式デッキ材押え金具をピン固定とする位置を表しています。

# 10 大引き、東柱位置 (単位: mm)

図の上部が躯体側となります。

表中の寸法は、幕板外面(幕板寸法30mm)からの寸法です。( )内寸法は段床ユニットが付く場合です。

間口 奥行D W	2.5間	3間(2間+1間)
	4451	5451
3R 920		
4R 1220		
5R 1520		
6R 1820		
7R 2120		
8R 2420		

図の上部が躯体側となります。  
 表中の寸法は、幕板外面(幕板寸法30mm)からの寸法です。

間口 奥行D W	2.5間	3間(2間+1間)
	4451	5451
9尺 2720		
10尺 3020		
12尺 3620		

奥行呼称30と36のデッキ材は千鳥張りとします。

# 12 大引き、束柱位置 (単位: mm)

図の上部が躯体側となります。

表中の寸法は、幕板外面(幕板寸法30mm)からの寸法です。( )内寸法は段床ユニットが付く場合です。

間口 奥行D W	3.5間(2間+1.5間) 6251	4間(2間+2間) 7251
3尺 920		
4尺 1220		
5尺 1520		
6尺 1820		
7尺 2120		
8尺 2420		

図の上部が躯体側となります。  
 表中の寸法は、幕板外面(幕板寸法30mm)からの寸法です。

間口 W 奥行D	3.5間(2間+1.5間)	4間(2間+2間)
	6251	7251
9尺 2720		
10尺 3020		
12尺 3620		

奥行呼称30と36のデッキ材は千鳥張りとします。



# 14 寸法図 (単位: mm)

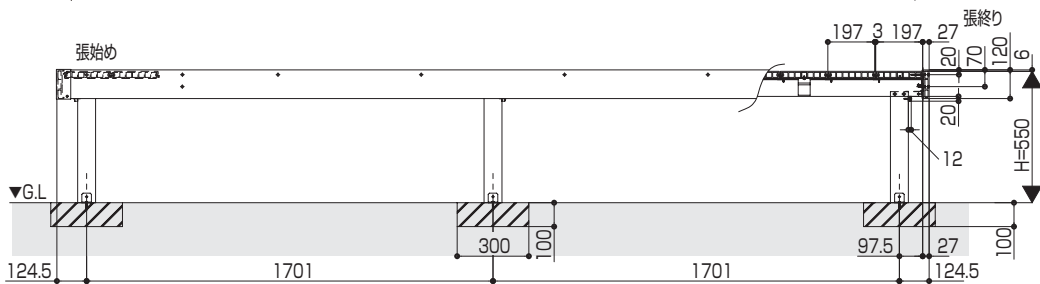
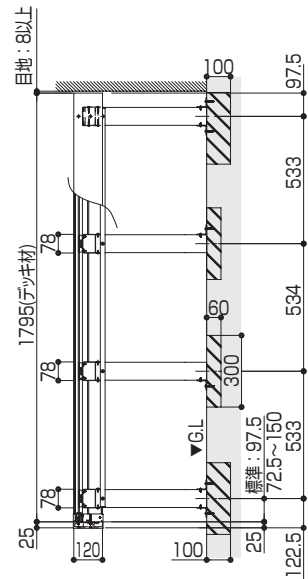
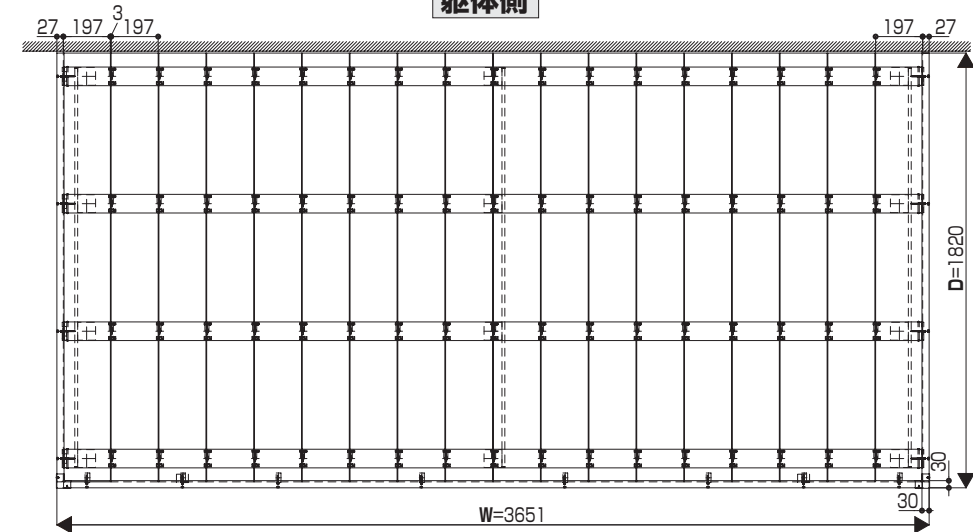
## ■寸法図

固定式束柱

標準柱 (F.L550)

■単体(間口2間・奥行6尺)

躯体側

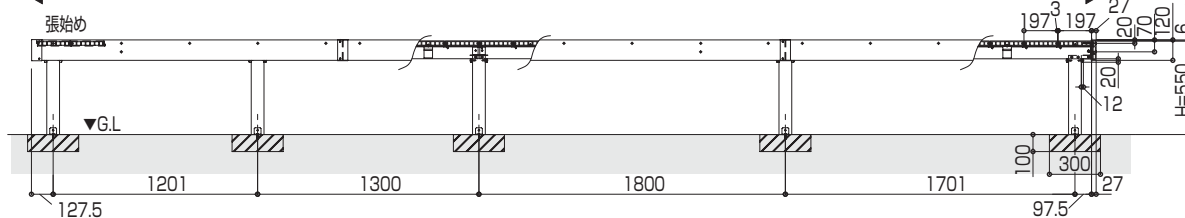
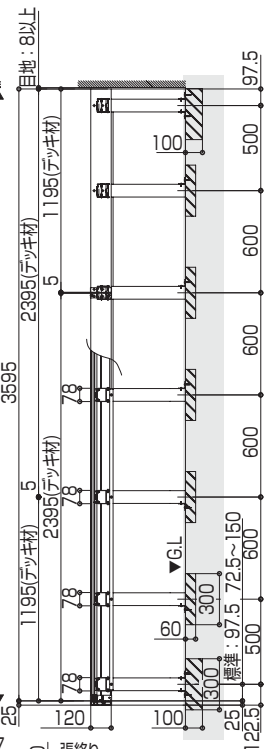
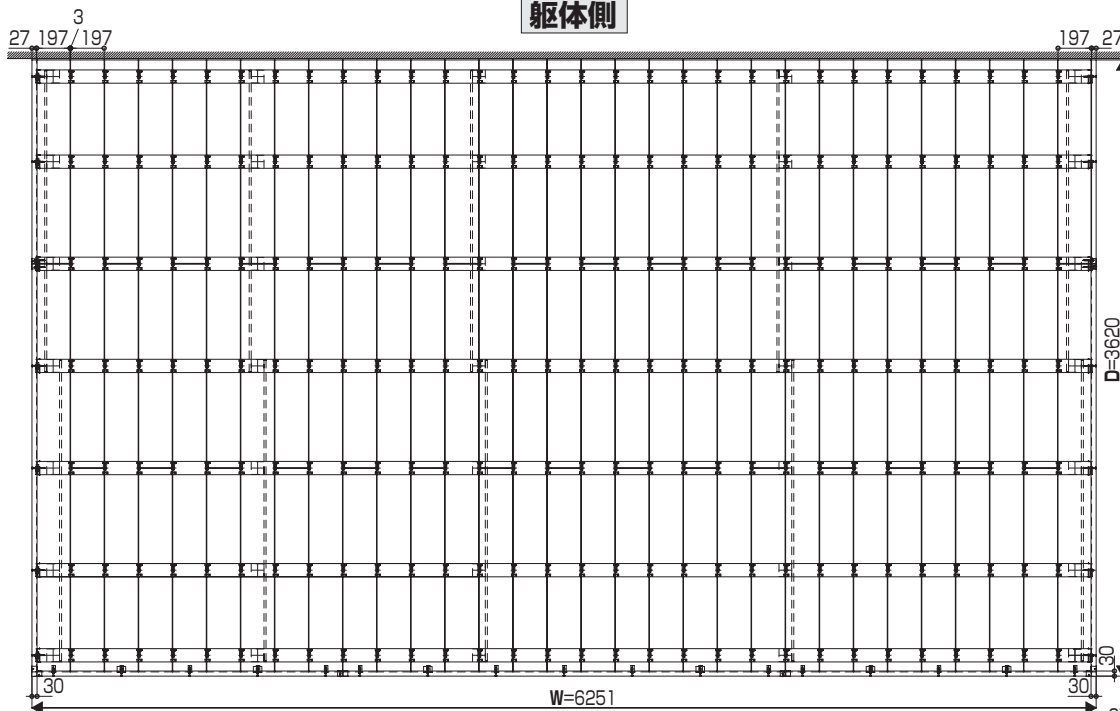


間口呼称	W
18	1851
26	2651
36	3651
44	4451

奥行呼称	D
09	920
12	1220
15	1520
18	1820
21	2120
24	2420
27	2720

■連結(間口3.5間・奥行12尺)

躯体側



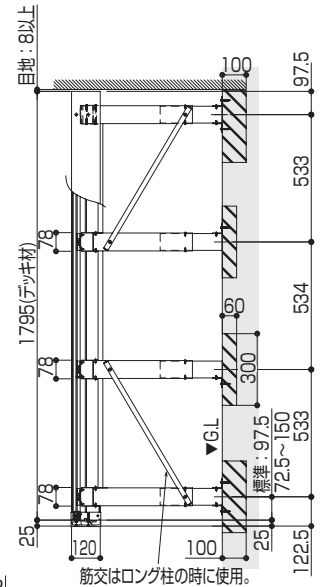
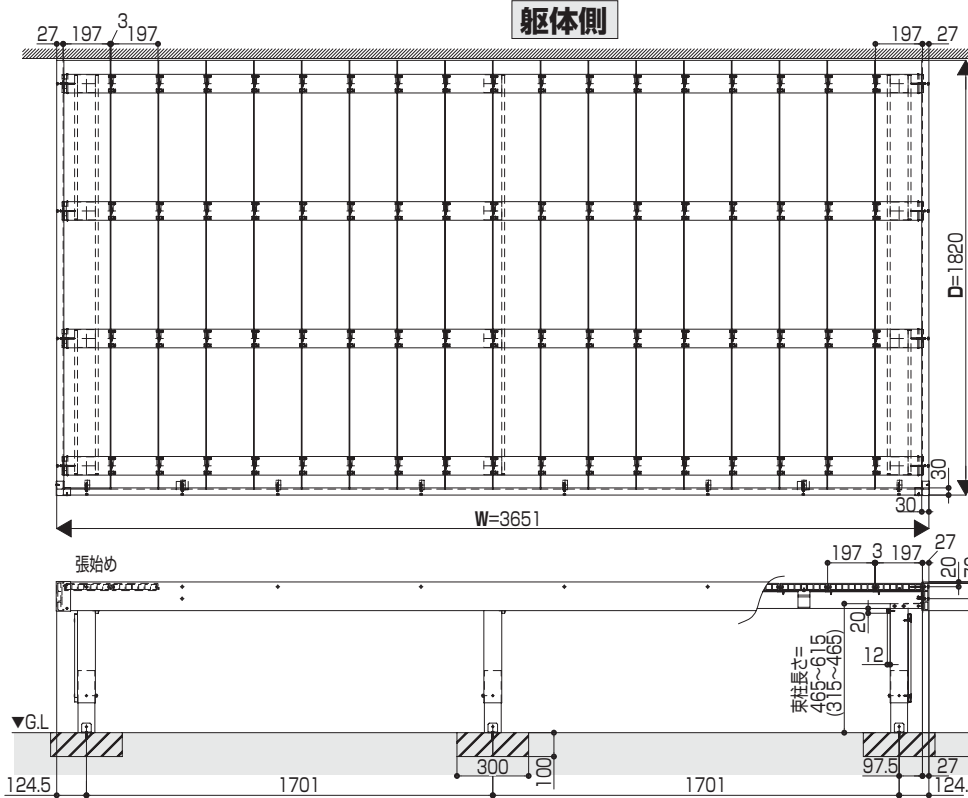
間口呼称	W
54	5451
62	6251
72	7251

奥行呼称	D
30	3020
36	3620

調整式束柱

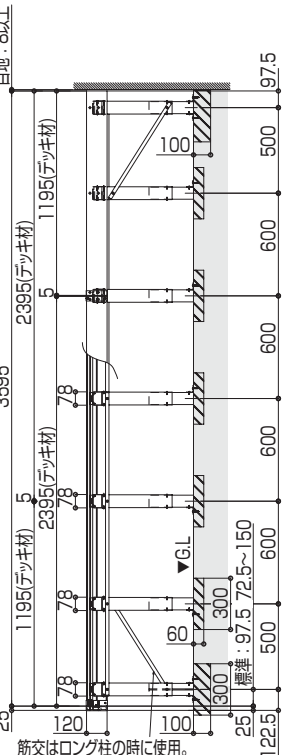
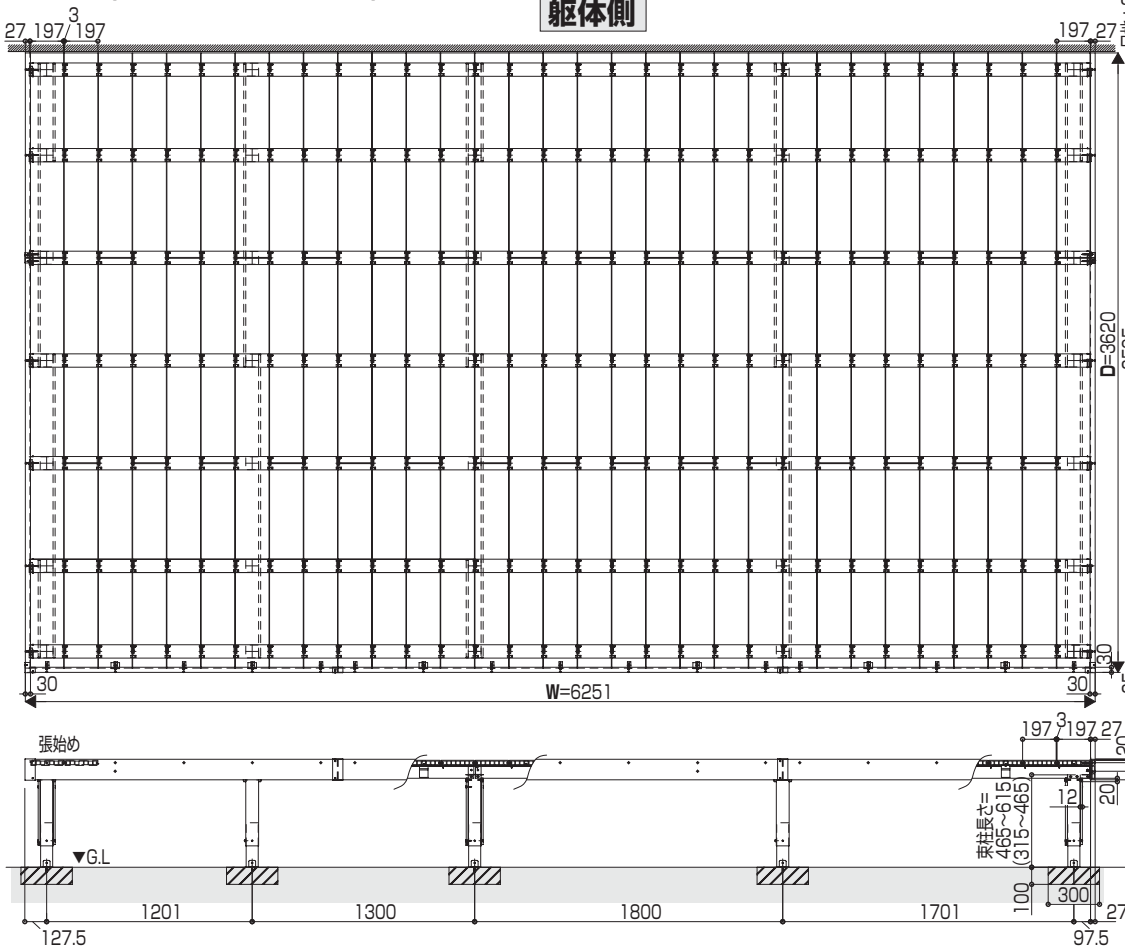
ロング柱(F.L550~700)・標準柱(F.L400~550)

■単体(間口2間・奥行6尺)



【表1】W寸法		【表2】D寸法	
間口呼称	W	奥行呼称	D
18	1851	09	920
26	2651	12	1220
36	3651	15	1520
44	4451	18	1820
		21	2120
		24	2420
		27	2720

■連結(間口3.5間・奥行12尺)



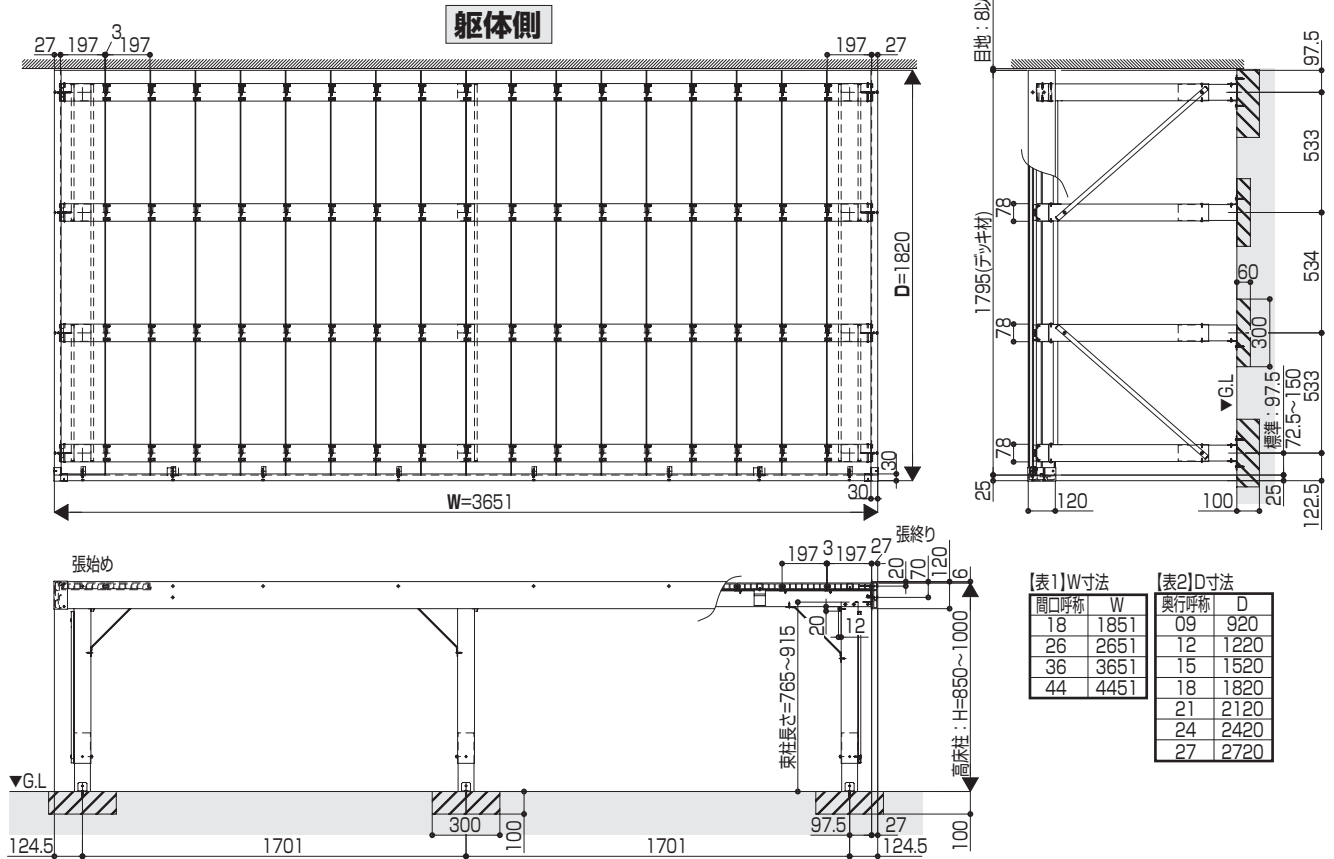
【表1】W寸法		【表2】D寸法	
間口呼称	W	奥行呼称	D
54	5451	30	3020
62	6251	36	3620
72	7251		

# 16 寸法図 (単位: mm)

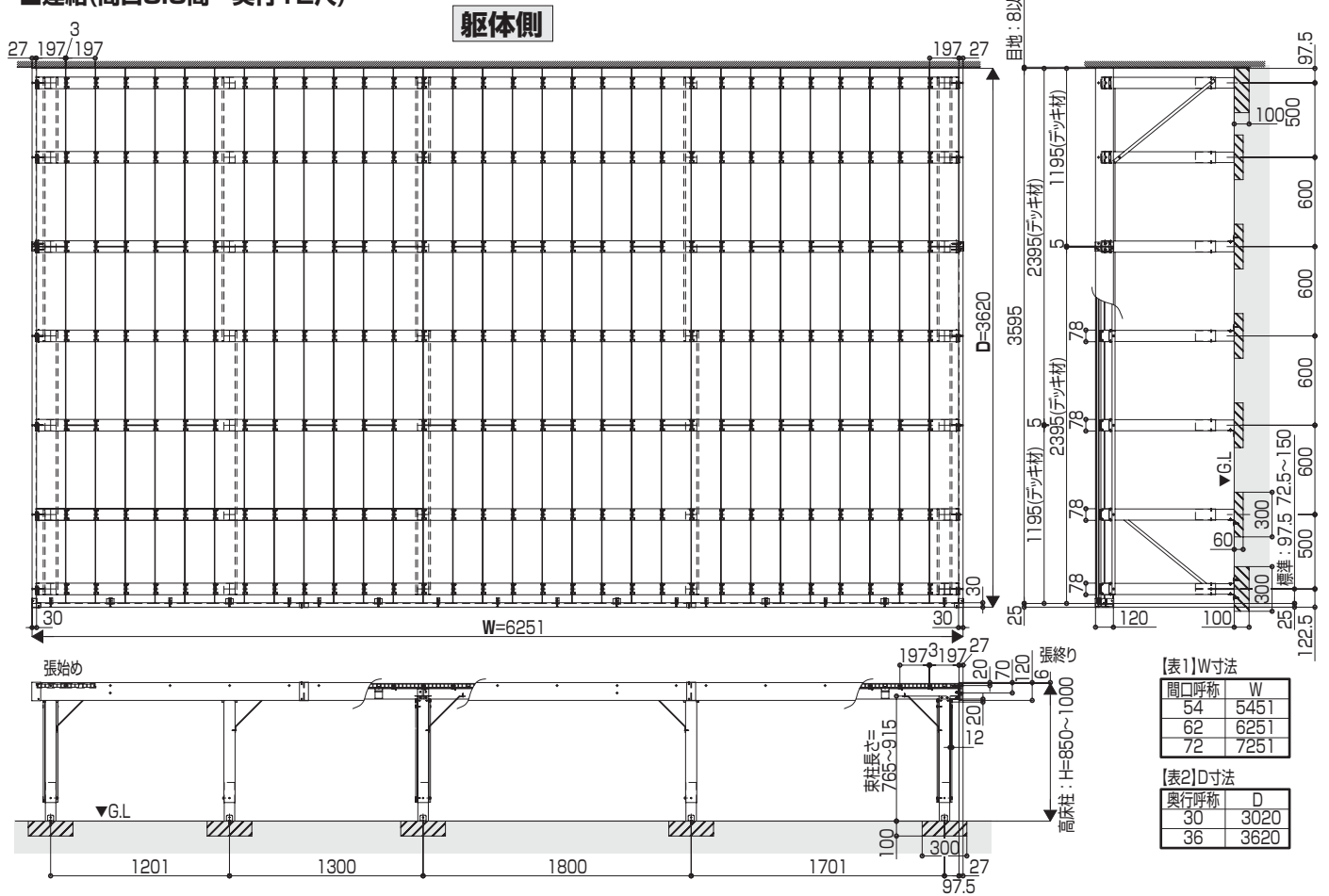
## 調整式束柱

## ロング柱 (F.L850~1000)

■単体(間口2間・奥行6尺)



■連結(間口3.5間・奥行12尺)

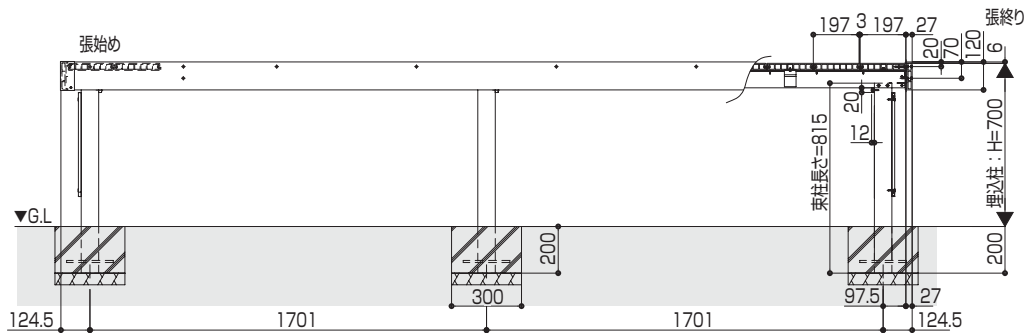
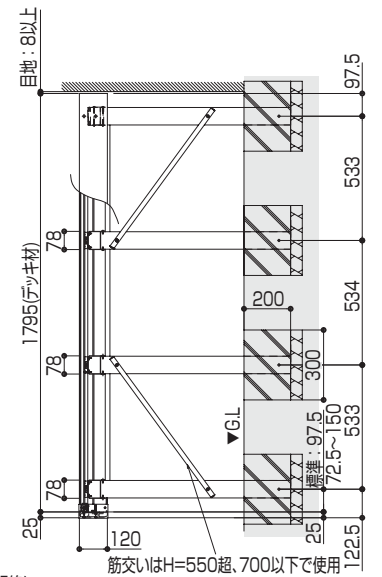
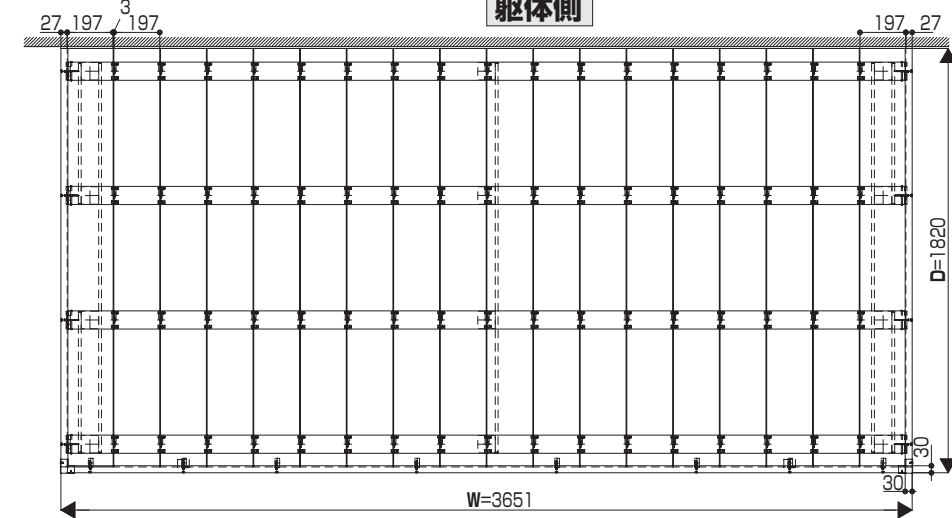


**埋込式束柱**

**標準柱 (F.L700)**

■単体(間口2間・奥行6尺)

**躯体側**



【表1】W寸法

間口呼称	W
18	1851
26	2651
36	3651
44	4451

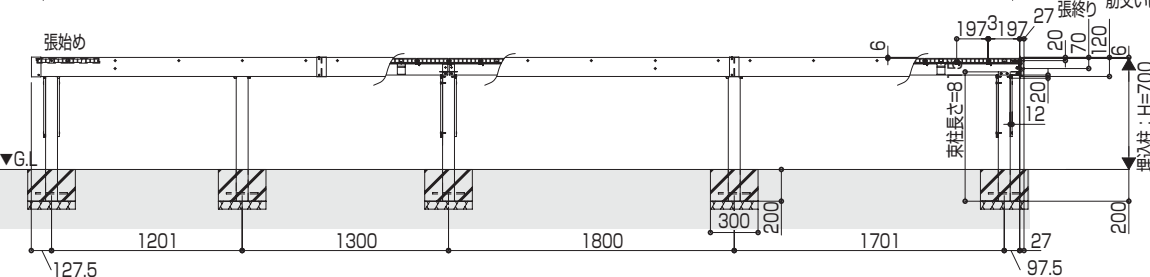
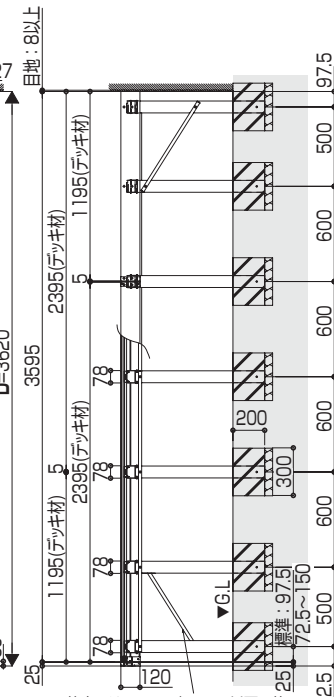
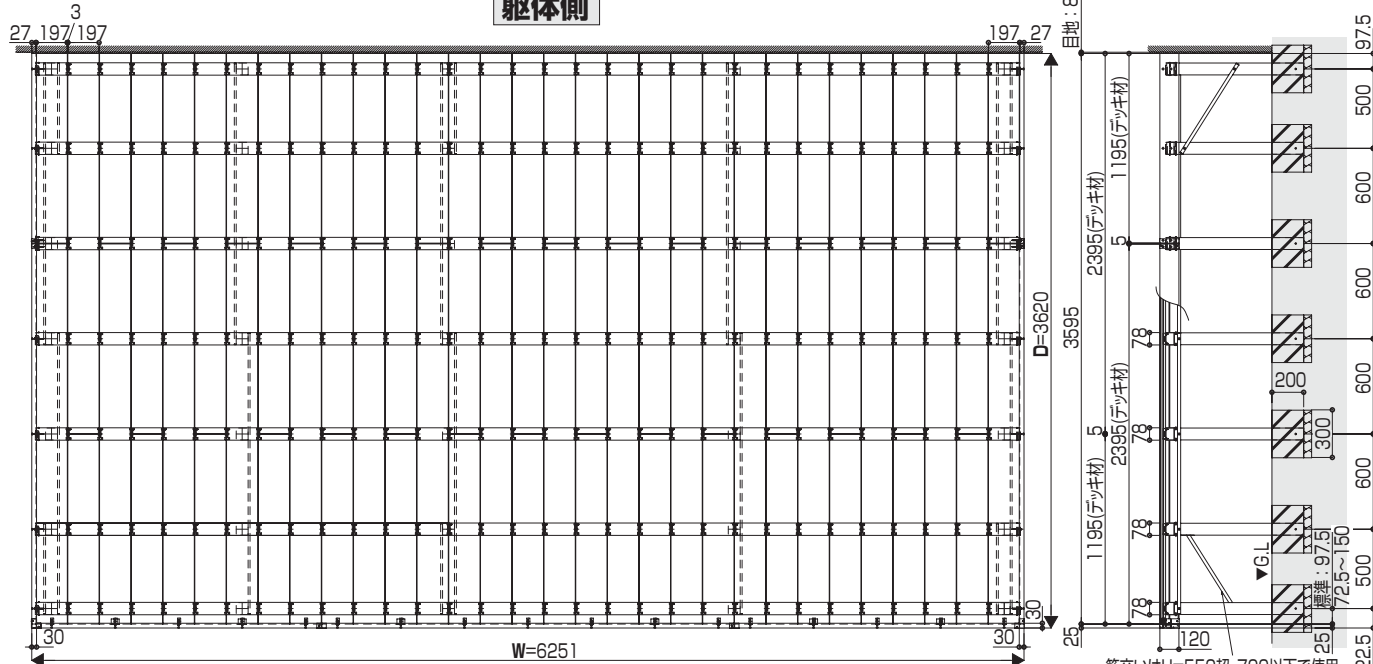
【表2】D寸法

奥行呼称	D
09	920
12	1220
15	1520
18	1820
21	2120
24	2420
27	2720

筋交いはH=550超、700以下で使用

■連結(間口3.5間・奥行12尺)

**躯体側**



【表1】W寸法

間口呼称	W
54	5451
62	6251
72	7251

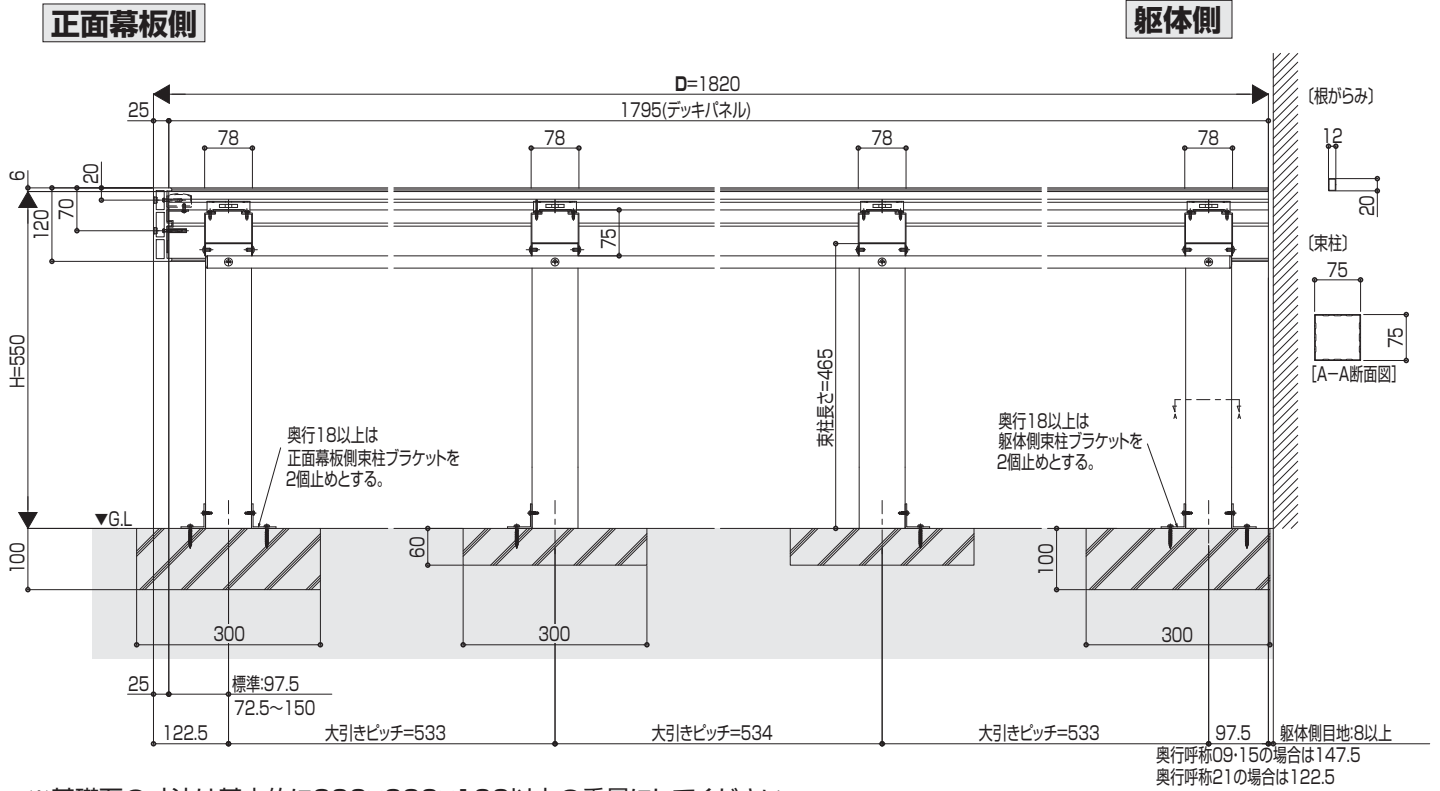
【表2】D寸法

奥行呼称	D
30	3020
36	3620

筋交いはH=550超、700以下で使用

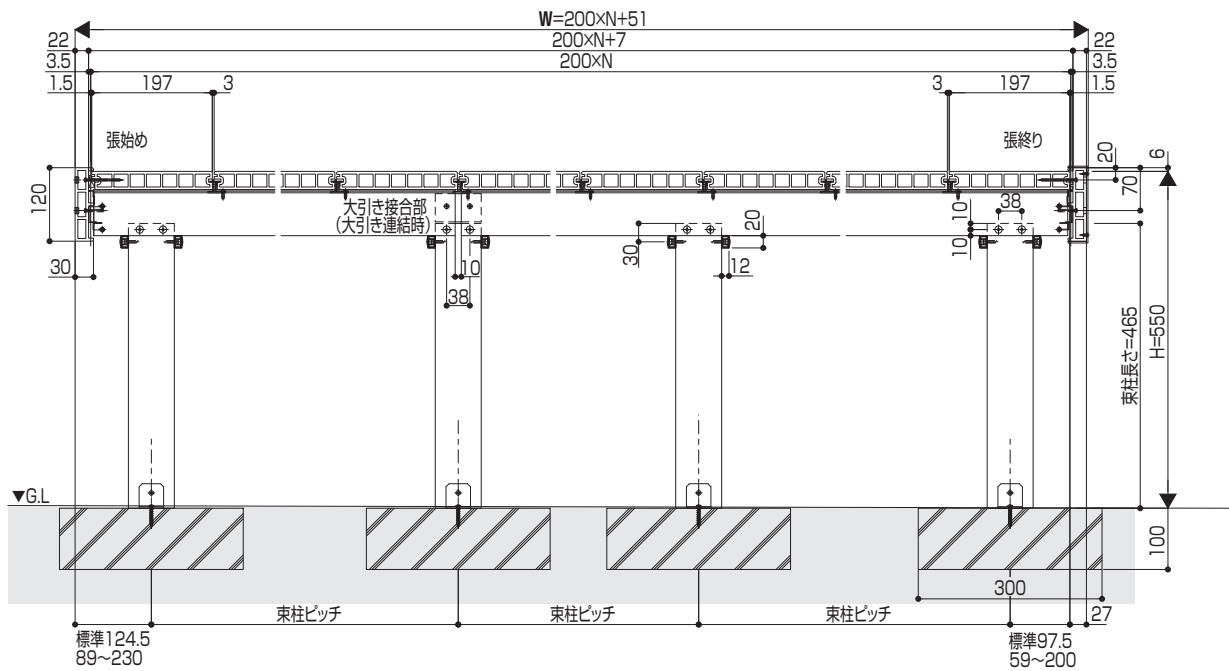
# 18 断面詳細図

## ■断面詳細図



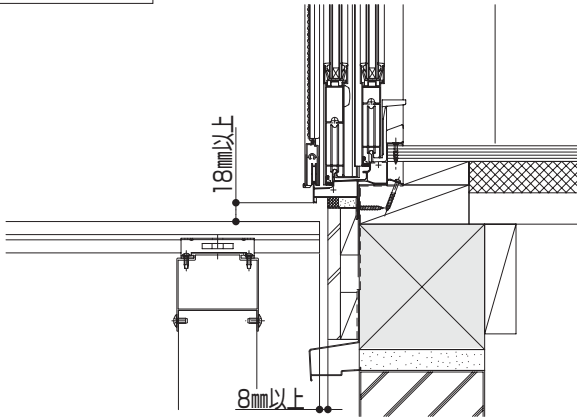
※基礎石の寸法は基本的に300×300×100以上の重量にしてください。  
ただし、正面幕板側と躯体側の大引き下部を除く中間部の大引き下に使用する基礎石は300×300×60でも使用できます。  
※本図は奥行規格18における大引きピッチを表しています。

正面から見た断面

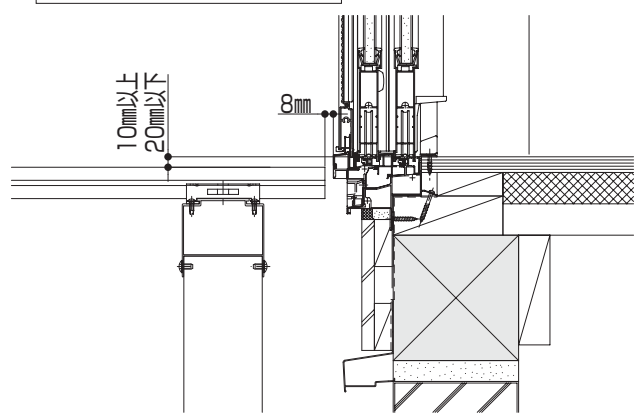


## ■基本納まり図

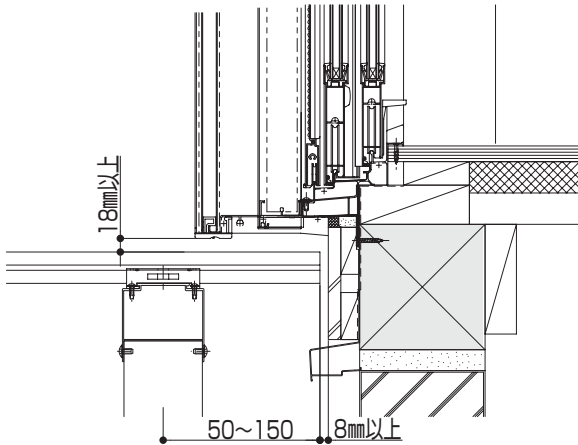
引違い窓



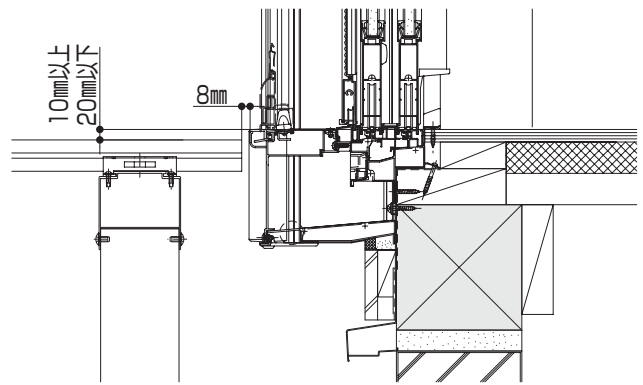
ノンレール引違い窓



雨戸付引違い窓



シャッター付ノンレール引違い窓



- 雨戸袋が付いている場合は、着脱式デッキ材押え金具を取付ける作業と戸袋が干渉しないように下記事項を確認し、大引きの位置を決めてください。

(大引きの位置はデッキ材端部から大引きの芯まで50mm~150mmの範囲で移動可能)

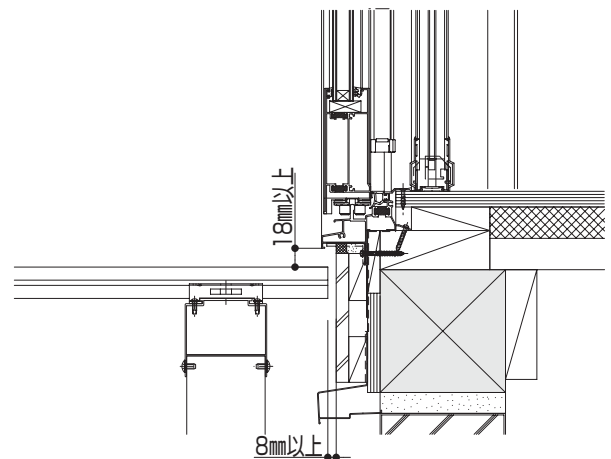
- ① 一般的に戸袋下部がサッシ枠より下がっているの、戸袋下部の高さを確認してください。
- ② 戸袋の出寸法を確認してください。
- ③ 施工するデッキ面の高さを確認してください。
- ④ 戸袋の出寸法が大きい時は戸袋と干渉しない位置に大引きを追加してください。

- シャッター水切板下面に水抜き穴があります。水抜き穴をふさぐと漏水の原因となりますので、モルタルなどで絶対に塞がないでください。

### 注意

本図は納まり推奨例を示します。その他の納め方に関しては網戸や排水部品などが干渉する場合がありますので別途相談してください。

ワイドオープン

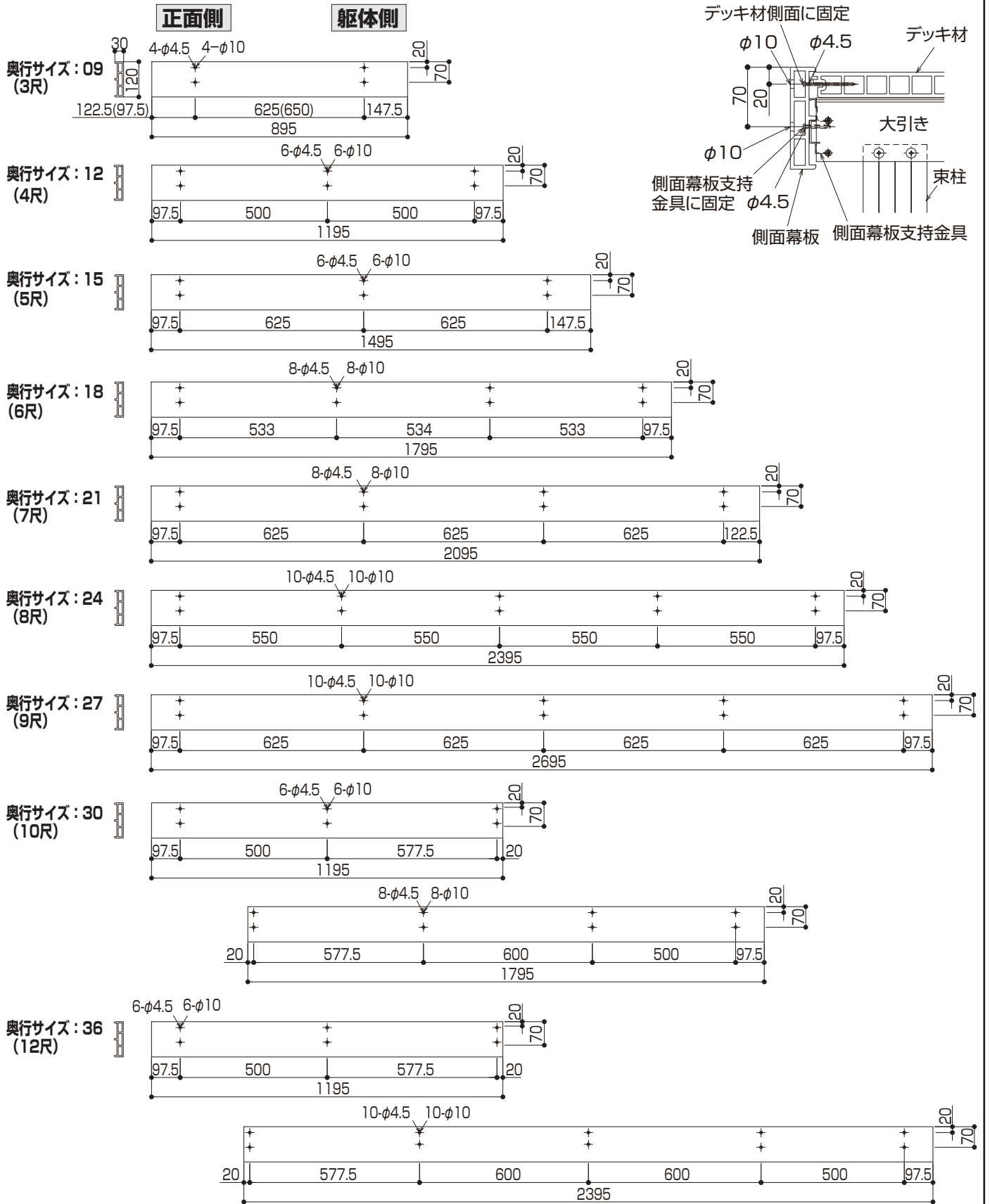


# 20 側面幕板の加工

## ■側面幕板の加工

### <厚幕板Dタイプ>

奥行きサイズを切詰める場合や、大引き位置を移動する場合は穴加工位置も移動してください。  
 下図は右側面幕板の加工寸法を表しています。(左側面幕板は逆勝手となります。)  
 ( )内寸法は段床ユニットが付く場合です。

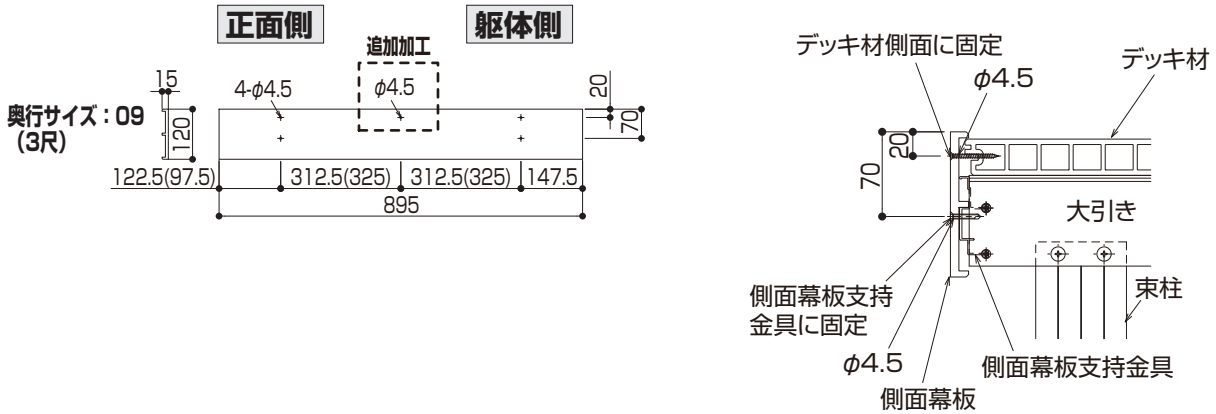




## <薄幕板Eタイプ>

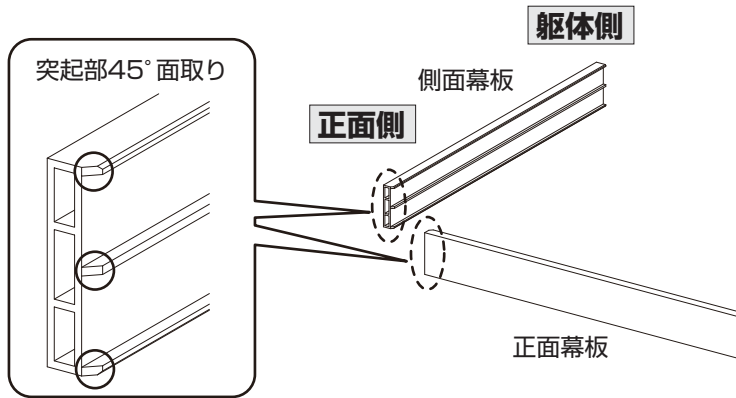
- ①<厚幕板Dタイプ>を参照し、同位置にφ4.5の穴加工をしてください。
- ②大引き間中間部に、幕板上面から20mmの位置にφ4.5の穴加工をしてください。

下図は右側面幕板の加工寸法を表しています。(左側面幕板は逆勝手となります。)  
 ( )内寸法は段床ユニットが付く場合です。



### 側面幕板に正面幕板が連続するコーナー部について

側面幕板、正面幕板に下図の加工を行ってください。  
 薄幕板も同様です。くい切りや金ノコなどで加工ができます。



# 22 基礎部の施工 / 高さ調整について

## ■基礎部の施工

### 固定式束柱・調整式束柱の場合

基礎石・土間コンクリートおよび埋込式束柱のコンクリート強度は18N/㎡以上のもを使用してください。

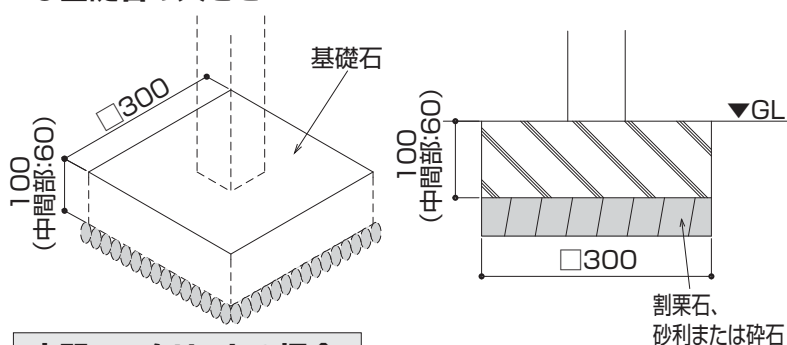
設置場所の束柱の基礎は、基礎石、土間コンクリートのどちらでもご利用いただけます。

#### 基礎石を使用する場合

「大引き、束柱位置」P.7~13を参照して、建物側から墨出しをし、寸法を確認して基礎芯を設定してください。

- ① 設置位置に穴を掘り、割栗石、砂利または碎石を敷いて突固めてください。
- ② 基礎石の水平レベルを確認してください。

#### ●基礎石の大きさ



#### 注意

アスファルトにはコンクリートねじが固定できません。設置しないでください。

#### お願い

- 基礎石は必ず埋込んでください。
- 基礎石の寸法は300×300×100以上のものを現地にてご用意ください。ただし、デッキ中間部の大引きの下に使用する基礎石は300×300×60以上のものも使用可能です。
- 基礎石の寸法は200×200×200以上も使用可能です。(ただし、地耐力50KN/㎡以上の場合)

#### 土間コンクリートの場合

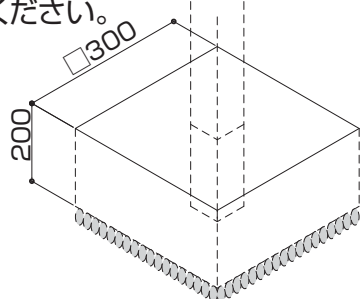
「大引き、束柱位置」P.7~13を参照して、建物側から墨出しをし、寸法を確認して柱芯を設定してください。

基礎石の寸法300×300×100の代わりに300×300×60を上、300×300×40(60)を下にして2個を接着し、1個の基礎石として使用可能です。  
(推奨接着剤：コニシ(株)ウルトラ多用途SU)

#### 埋込式束柱の場合

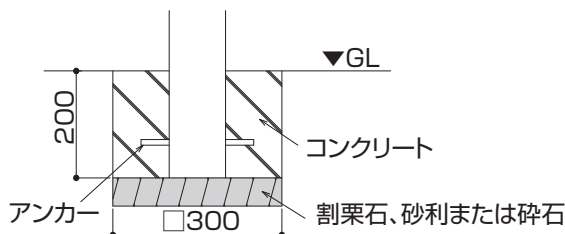
「大引き、束柱位置」P.7~13を参照して、建物側から墨出しをし、寸法を確認して基礎芯を設定してください。

設置位置に穴を掘り、割栗石、砂利または碎石を敷いて突き固めてください。



#### お願い

- 埋込み用基礎穴寸法は300×300×200以上にしてください。
- 基礎部に割栗石、砂利または碎石を敷いてください。



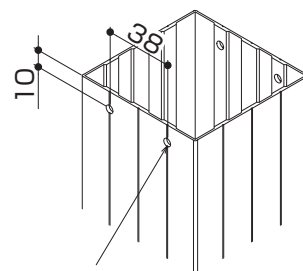
## ■高さ調整について

### 調整式束柱の場合

#### F.L700mm<H<850mmの高さに対応する場合

調整式ロング柱F.L850~1000の上部を切断して使用してください。

束柱上部に右図のようにあらかじめあいていた穴加工を行ってください。

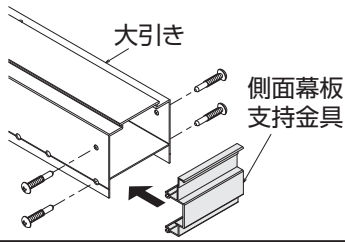


φ4.5通し加工  
大引きへの固定穴

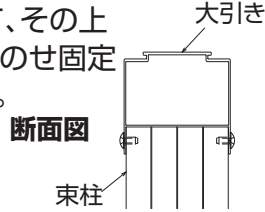
## ■大引き・束柱・根がらみの組立・取付

### 1.大引きと束柱の組立

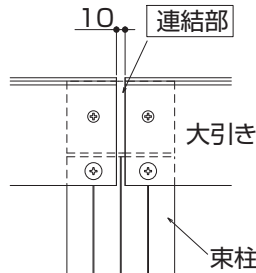
① 大引きの両端に側面幕板支持金具を取付けてください。



② 束柱を並べて、その上から大引きをのせ固定してください。

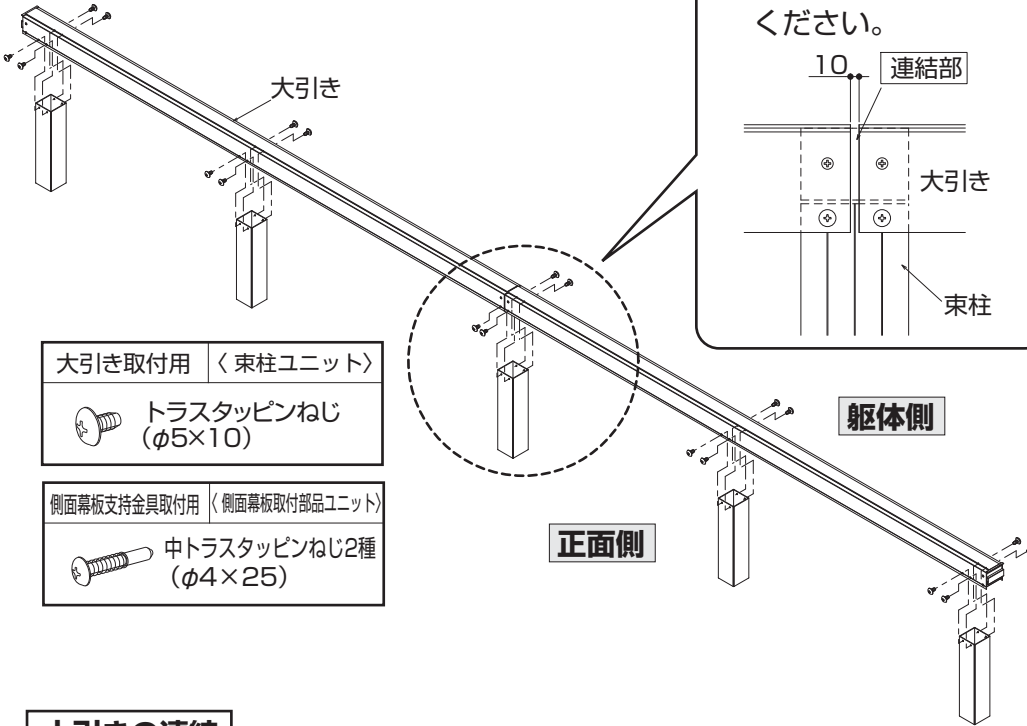
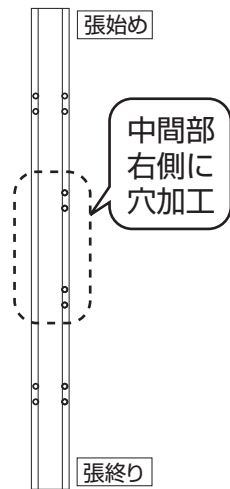


③ 大引きの連結は必ず束柱の上で行ってください。



#### お願い

着脱式デッキ材押え金具を取付けるため、大引き中間部の穴加工が張終り側から見て、右側になるように大引きを配置してください。

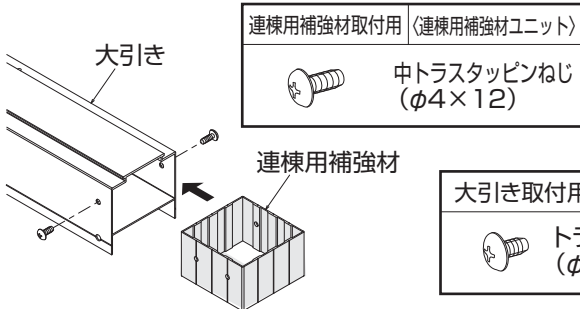


大引き取付用	〈束柱ユニット〉
	トラスタッピンねじ (φ5×10)

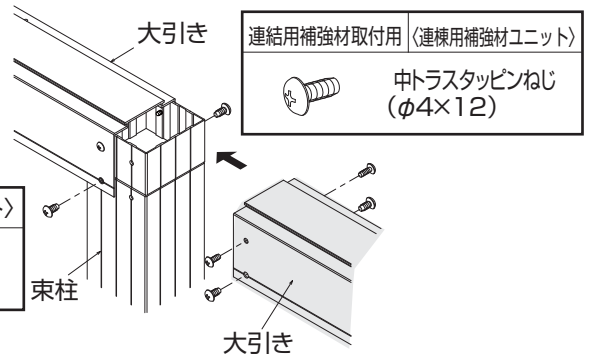
側面幕板支持金具取付用	〈側面幕板取付部品ユニット〉
	中トラスタッピンねじ2種 (φ4×25)

#### 大引きの連結

① 連棟用補強材を大引きにねじで取付けてください。

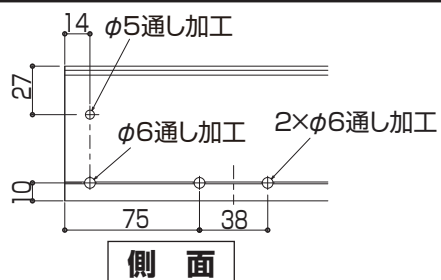


② 大引きを連結させてください。



#### 大引きを切断して使用する場合

大引きを切断して使用する場合、切断した側の端部に右図の穴加工を行ってください。



# 24 大引き・束柱・根がらみの組立・取付

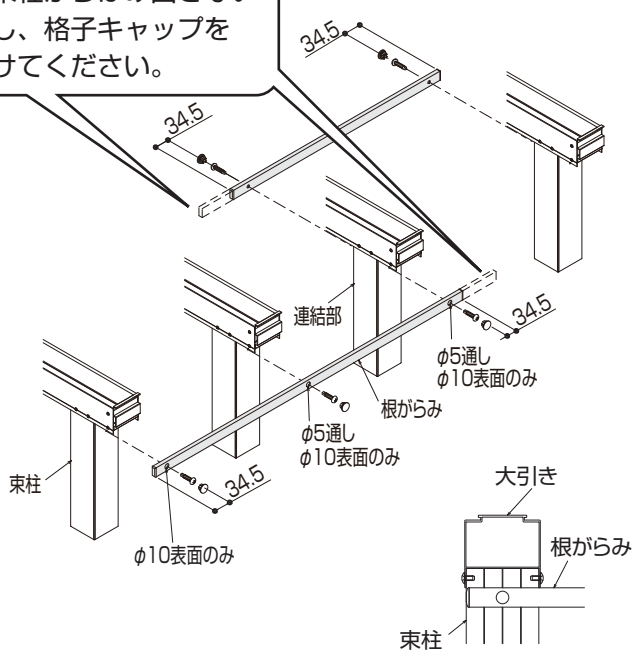
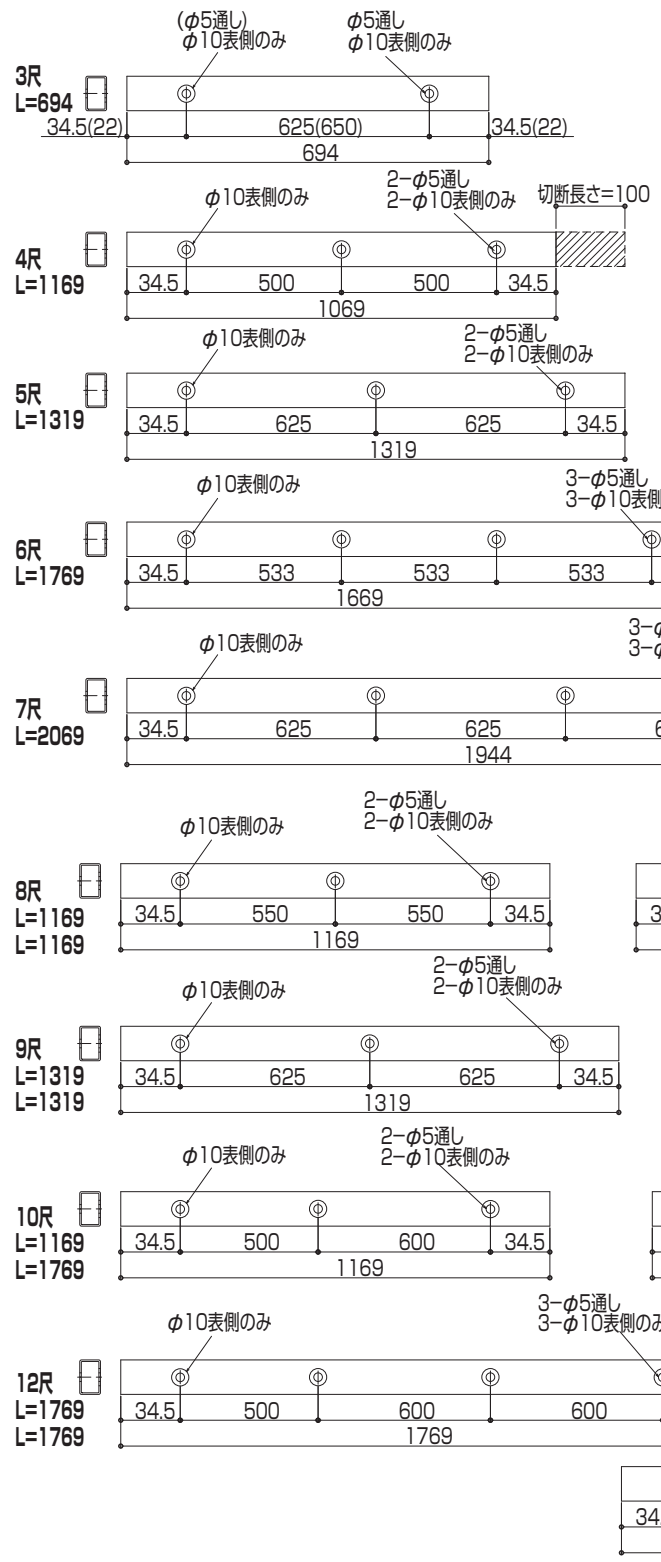
## 2.根がらみの取付

### 根がらみの加工

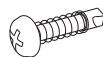

束柱ピッチにあわせて根がらみにφ5の通し加工をしてください。表側は再度φ10の穴あけをしてください。

根がらみは束柱からはみ出さない長さに切断し、格子キャップを両端に取付けてください。

( )内寸法は段床ユニットが付く場合です。

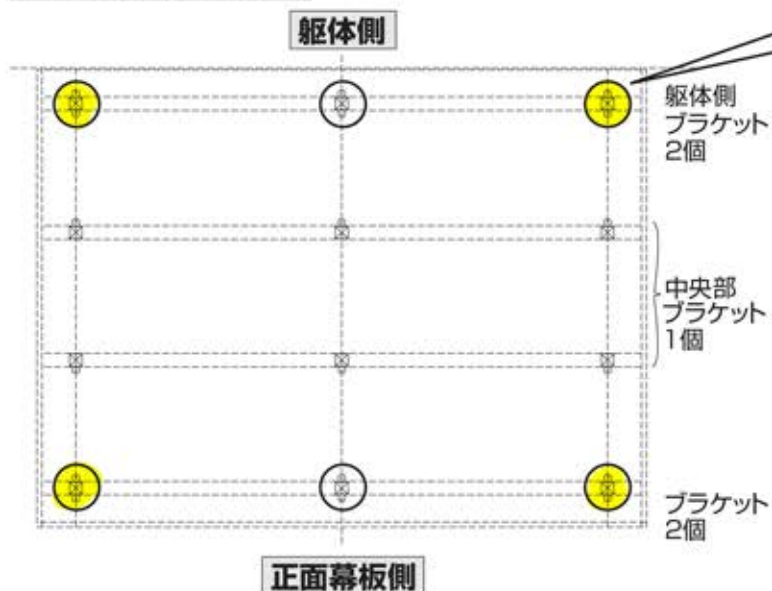


根がらみを大引きへ下からあて、束柱中央のケガキ溝へねじで取付け、穴塞ぎキャップを取付けてください。

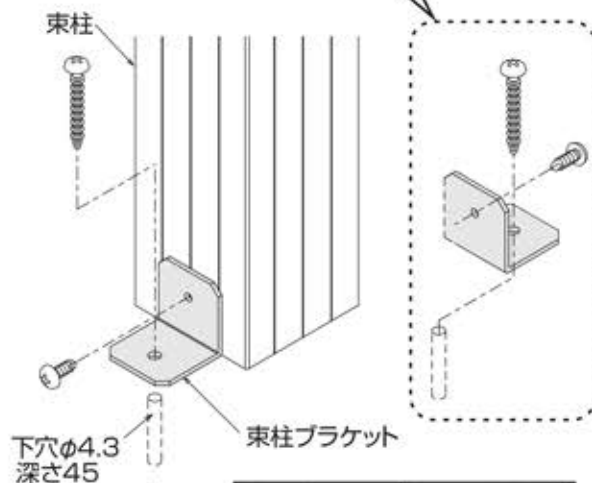
根がらみ取付用 (根がらみユニット)	
	なべドリルねじ (φ4×19)
	穴塞ぎキャップ (φ10用)

### 3. 束柱の固定

#### 固定式束柱の場合



① 束柱中央のケガキ溝へ束柱ブラケットをねじで固定してください。  
長さ6尺以上のデッキサイズには両端の大引きに付く束柱を2個のブラケットで固定してください。(○印部参照)



束柱固定ブラケット固定用 (束柱ユニット(固定式))	コンクリート ねじ
束柱ブラケット取付用 (束柱ユニット(固定式))	なべドリルねじ (φ4×13)

#### 注意

コンクリートねじを固定する場合は、ねじの締めすぎによる頭飛びやねじの破損、ねじの空転防止のため、**5.0N・m(50kgf・cm)前後**(コンクリート強度にあわせ)でトルク調整をして、ねじを締めてください。  
トルク調整のできないインパクトドライバーの使用は避けてください。

#### ポイント

下穴はφ4.3のコンクリートドリルで深さ45mmまであけてください。

② 基礎に下穴(φ4.3)をあけ、コンクリートねじで固定してください。

#### 調整式束柱の場合

高さ調整タイプは以下に対応しています。

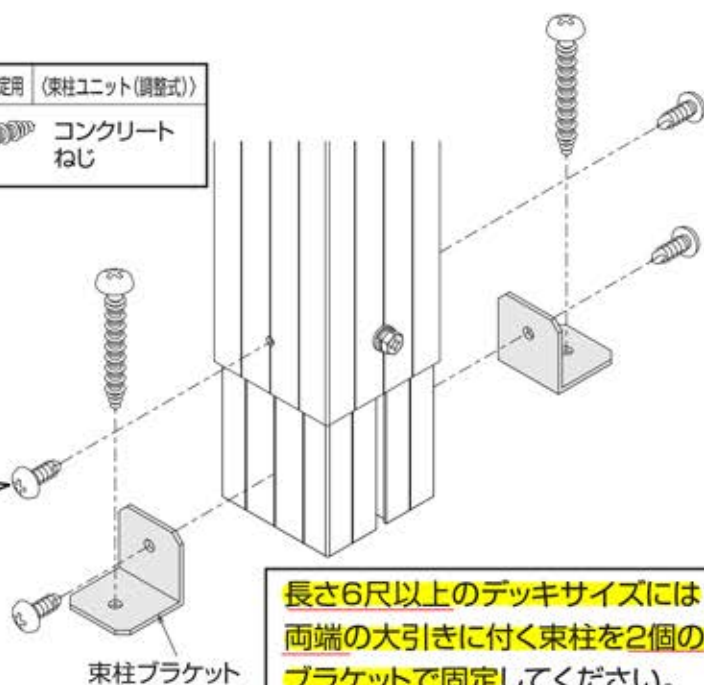
タイプ	デッキ高さ
Tタイプ	400～ 550
Hタイプ	550～ 700
Lタイプ	850～ 1000

束柱固定ブラケット固定用 (束柱ユニット(調整式))	コンクリート ねじ
----------------------------	--------------

高さ固定用 (束柱ユニット(調整式))	なべドリルねじ (φ4×13)
---------------------	--------------------

高さ調整後、束柱を2本のねじで固定してください。

束柱ブラケット取付用 (束柱ユニット(調整式))	なべドリルねじ (φ4×13)
--------------------------	--------------------



長さ6尺以上のデッキサイズには両端の大引きに付く束柱を2個のブラケットで固定してください。

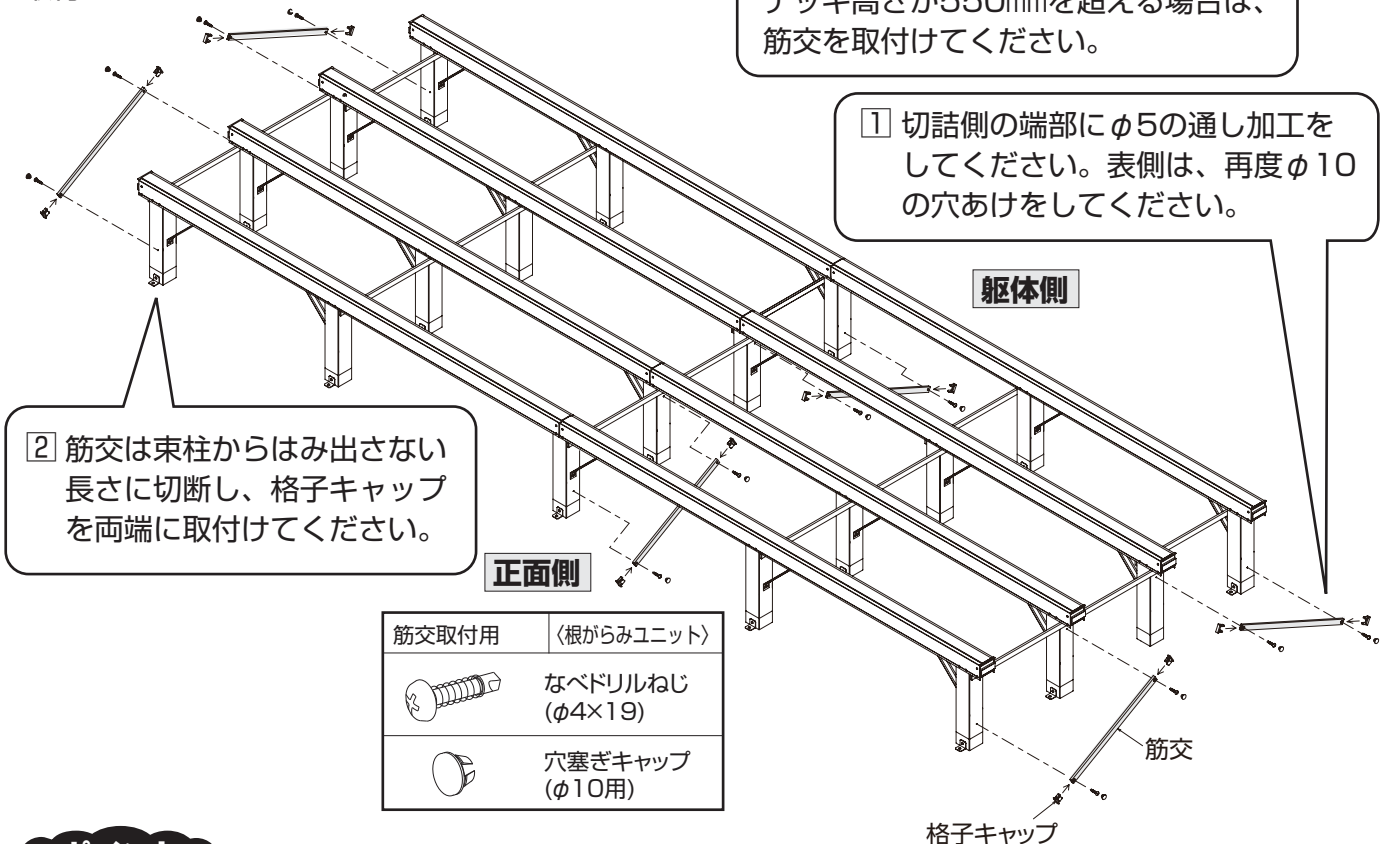


## 4. 筋交の取付

下図のように左右の側面部と間口連結部の束柱芯に取付けてください。

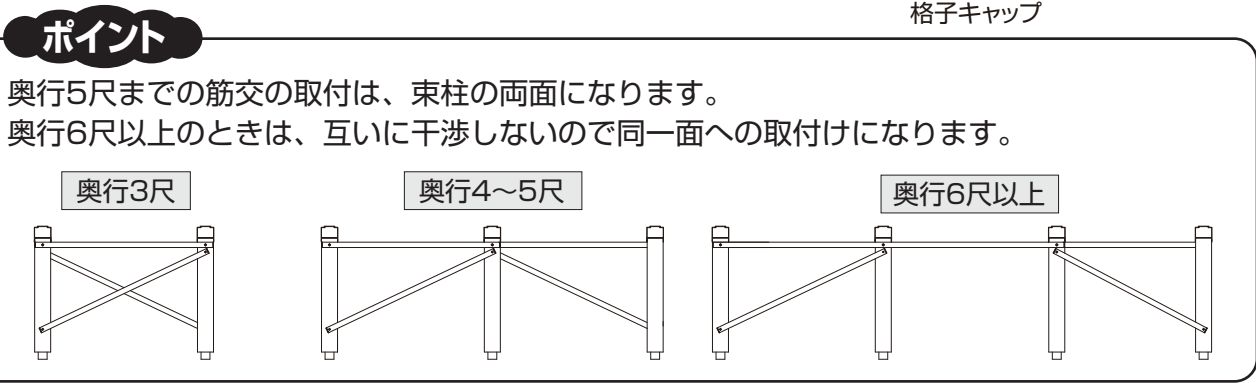
**ポイント**  
デッキ高さが550mmを超える場合は、筋交を取付けてください。

① 切詰側の端部にφ5の通し加工をしてください。表側は、再度φ10の穴あけをしてください。



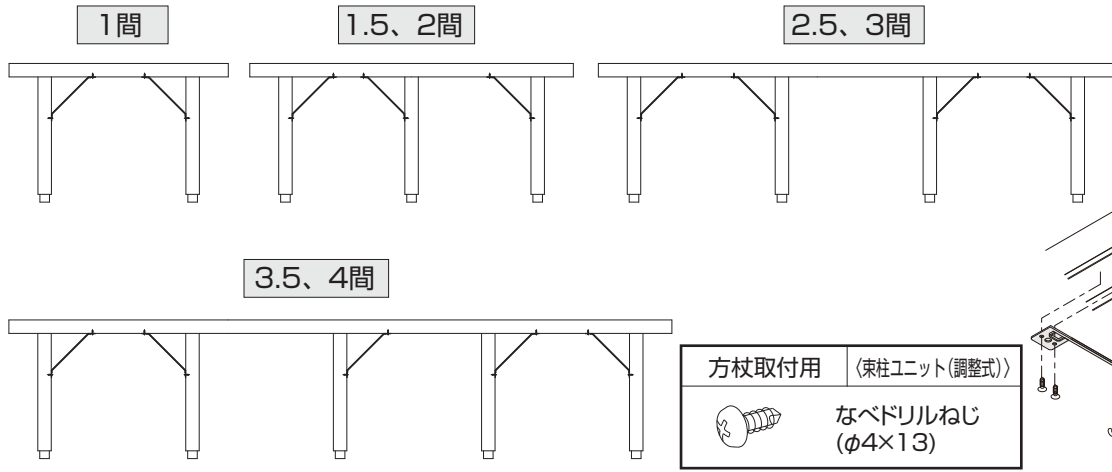
② 筋交は束柱からはみ出さない長さに切断し、格子キャップを両端に取付けてください。

筋交取付用	〈根がらみユニット〉
	なべドリルねじ (φ4×19)
	穴塞ぎキャップ (φ10用)



## 方杖の取付

調整式束柱Lタイプ(F.L850~1000)には方杖を取付けてください。



方杖取付用	〈束柱ユニット(調整式)〉
	なべドリルねじ (φ4×13)

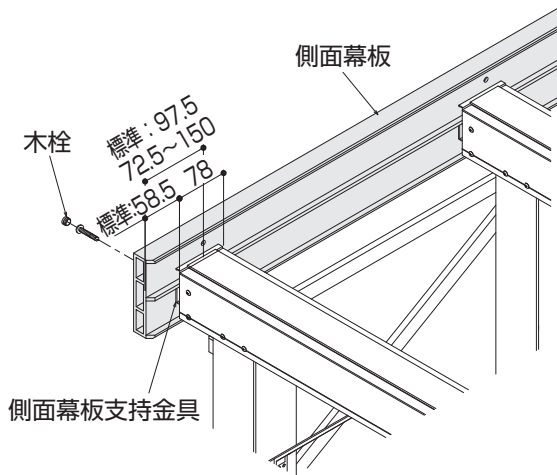
## ■側面幕板の取付

### お願い

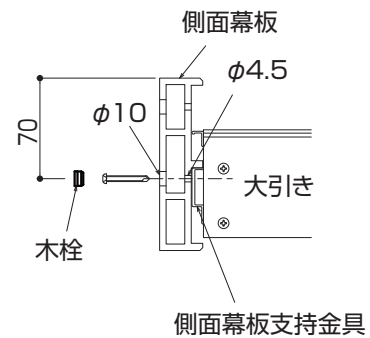
躯体側の目地寸法(8mm以上)にあわせて側面幕板を取付けてください。

### <厚幕板Dタイプ>

デッキ材張始め側の側面幕板を側面幕板支持金具に仮置きし、寸法をあわせて取付けてください。木栓は最後に取付けてください。

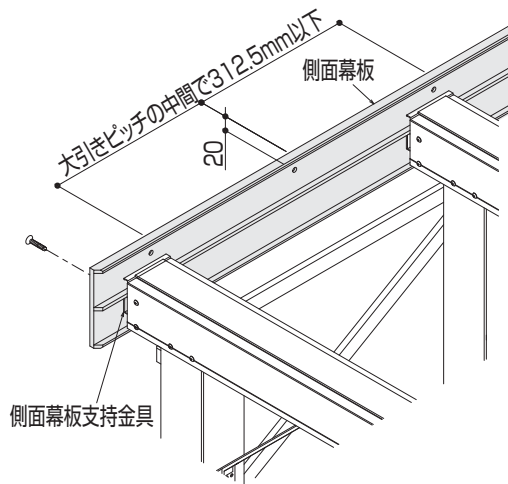


側面幕板取付用	〈側面幕板取付部品ユニット〉
	なべドリルねじ (φ4×30)

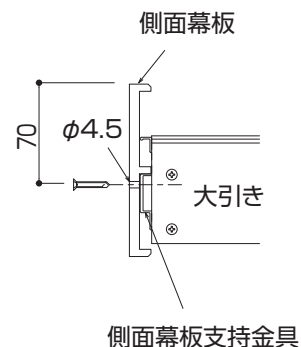


### <薄幕板Eタイプ>

側面幕板の加工を参照し、大引きピッチ中間部に穴(φ4.5)加工があることを確認してください。



側面幕板取付用	〈正面・側面幕板ユニット〉
	皿ドリルねじ (φ4×25)



(規格奥行3尺に段床ユニットが付く場合は325mm以下で固定してください。)

### 注意

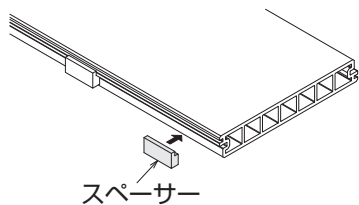
薄幕板Eタイプをねじ固定する場合は、ねじが薄幕板にめり込みすぎないようにトルクを**1.0N・m(10kgf・cm)**以下に調整して、ねじを締めてください。



## ■デッキ材の取付

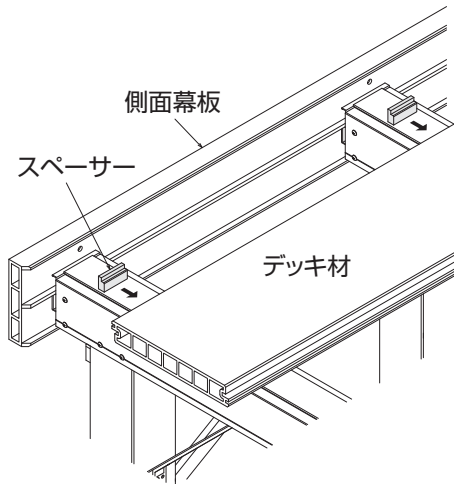
### 1. 1枚目のデッキ材の固定

①側面幕板側のデッキ材側面に、スペーサーを貼付けてください。



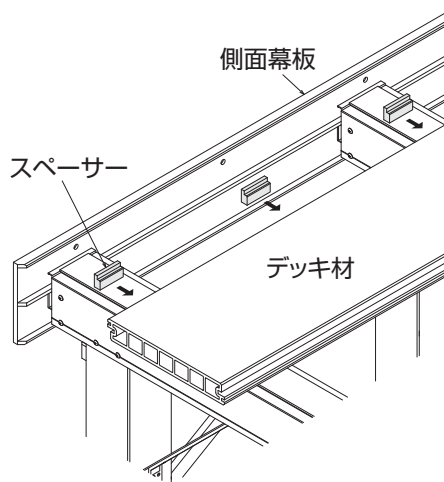
#### <厚幕板Rタイプ>

大引き位置にあわせて貼付



#### <薄幕板Eタイプ>

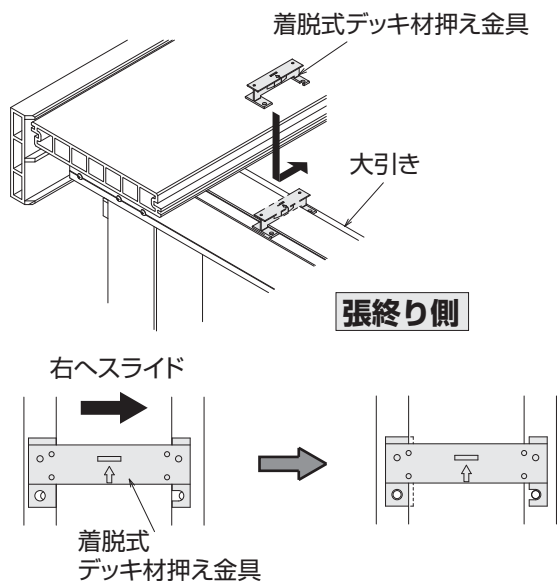
側面幕板の穴位置にあわせて貼付



②デッキ材を側面幕板および躯体側の目地寸法にあわせて設置し、着脱式デッキ材押え金具でデッキ材を押え、大引きの下穴と着脱式デッキ材押え金具の穴位置をあわせてねじで固定してください。

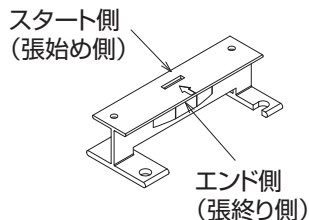
### ポイント

着脱式デッキ押え金具は大引きの上から差込み、張終りから見て右側へスライドさせ、大引き端部は左右、大引き中間部は右側をねじで固定してください。

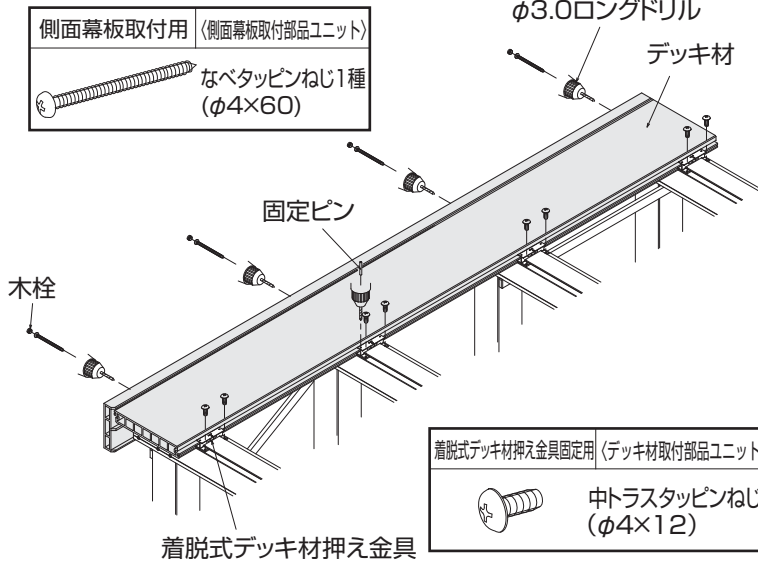


### お願い

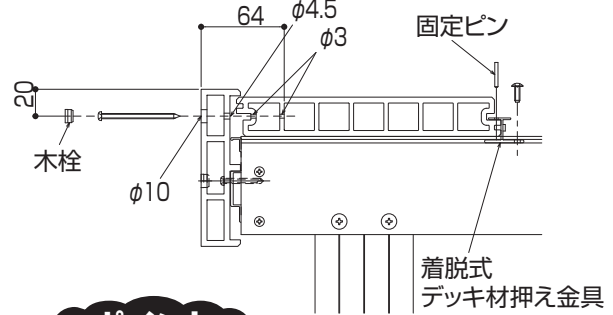
着脱式デッキ押え金具の向きに注意して大引きへ取付けてください。



③側面幕板の大引き部上側の穴からデッキ材側面にφ3.0ロングドリルで穴をあけ、ねじ留めしてください。  
木栓は最後に取付けてください。

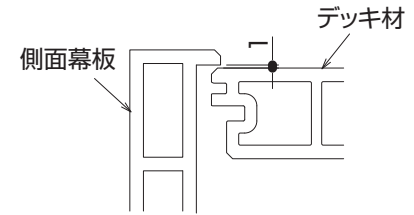
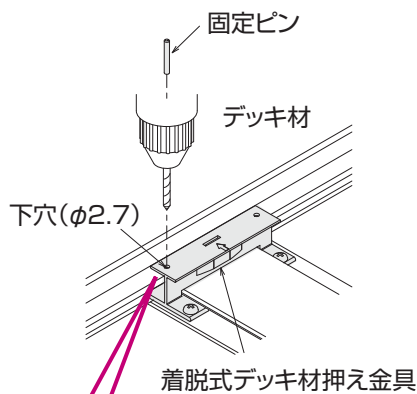


**ポイント**  
穴をあける時はデッキ材が浮かないように、大引きに押しあててください。

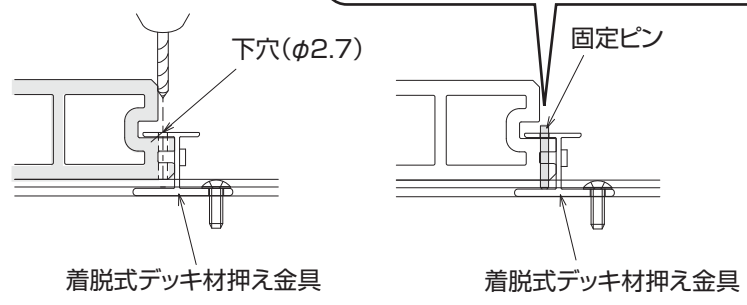


**ポイント**  
**側面側**  
側面幕板は仮置き状態でデッキ材より1mm浮いた状態になっています。正面幕板・側面幕板はデッキ材上面より1mm浮かせて固定してください。

④デッキ材1枚につき1箇所、移動を止めるための固定ピンを取付けてください。



固定ピンは着脱式デッキ材押え金具より約2.2mm突出します。



<下穴(φ2.7)をあけた状態>

<固定ピンが納まった状態>

**注意**  
デッキ材のみ下穴(φ2.7)をあけ、着脱式デッキ材押え金具には穴をあけないようにしてください。

**注意**

着脱式デッキ材押え金具に固定ピンを取付ける位置は奥行きごとに使用する大引き位置に注意して取付けてください。

奥行き	3尺	6尺	8尺	10尺	12尺
	4尺	7尺	9尺		
	5尺				

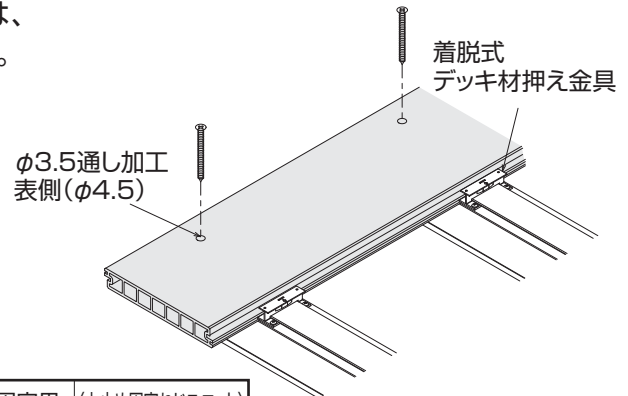
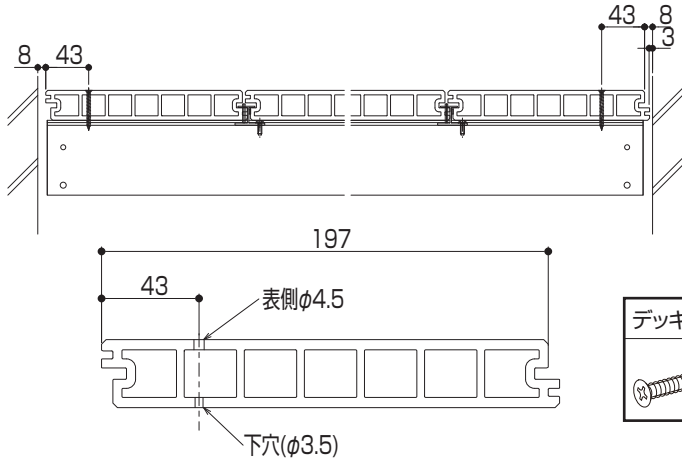
大引き本数	2~3本	4本	5本	6本	7本
-------	------	----	----	----	----



# 30 デッキ材の取付

## 入隅部に取付ける場合

- デッキ材を単体もしくはたて連結で12尺以下の場合、デッキ材の上面から大引きにねじで固定してください。



デッキ材固定用	〈上止め固定ねじユニット〉
	皿タッピンねじ (φ4×40)

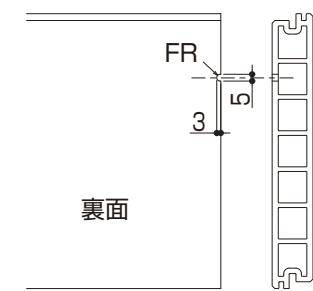
- デッキ材をたて連結して12尺を超える場合は、デッキ連結板を使用してください。

①デッキ材連結部のデッキ小口にデッキ連結板を挿入してください。


上からねじで軽く固定してください。 ※入隅納まりの場合、デッキ材を固定するねじ留め位置と同じ中間部にデッキ連結板を使用してください。

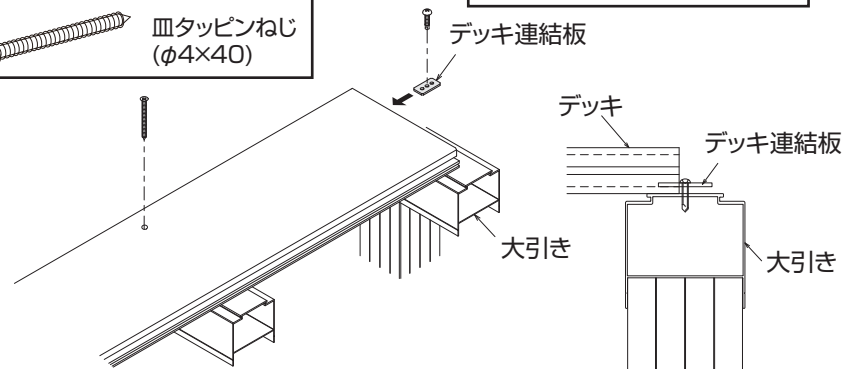
### お願い

デッキ連結板を取付ける中空部のデッキ材裏面をヤスリなどで図のように加工してください。

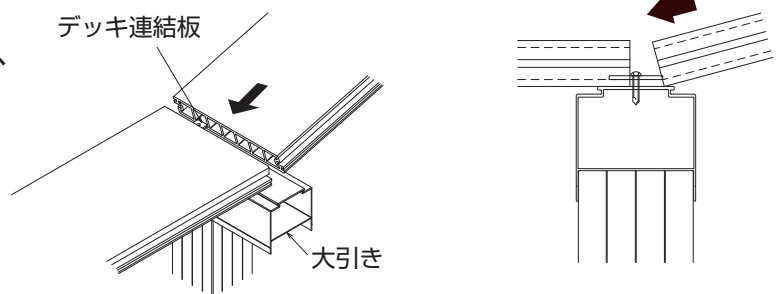


デッキ材固定用	〈デッキ材固定部品ユニット〉
	皿タッピンねじ (φ4×40)

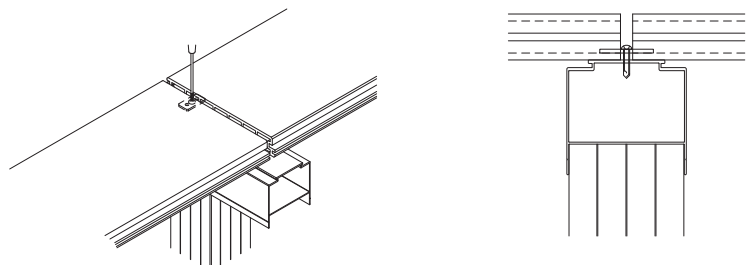
デッキ連結板取付用	〈デッキ材固定部品ユニット〉
	なべドリルねじ (φ4×19)



②デッキ材の中空部に連結板が入るように、次のデッキ材を取付けてください。

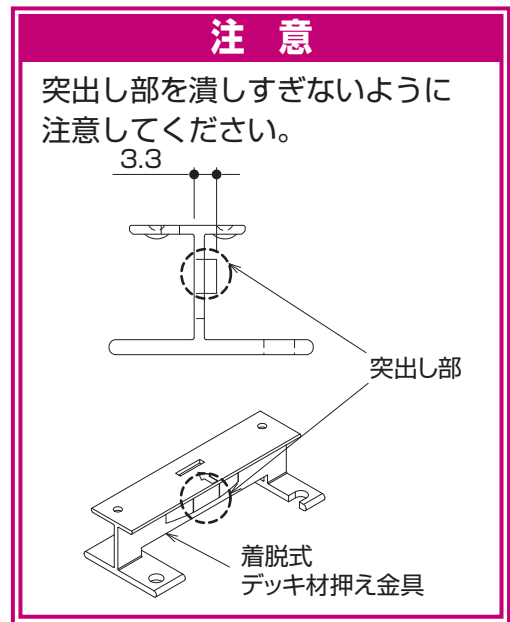
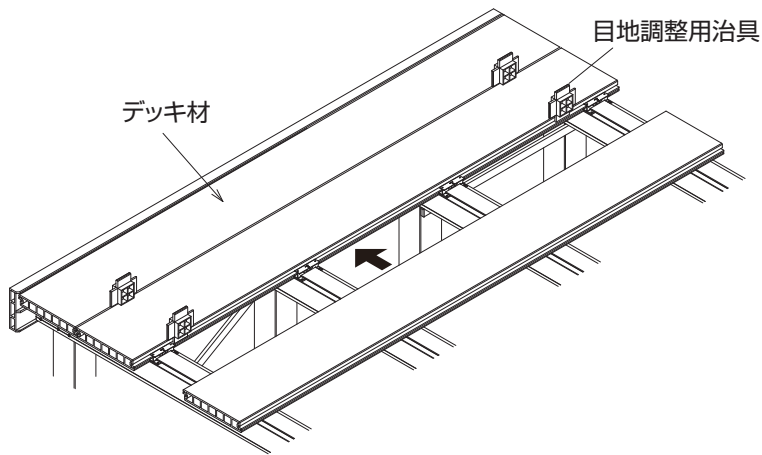


③デッキ材の挿入後、軽くねじを固定してください。

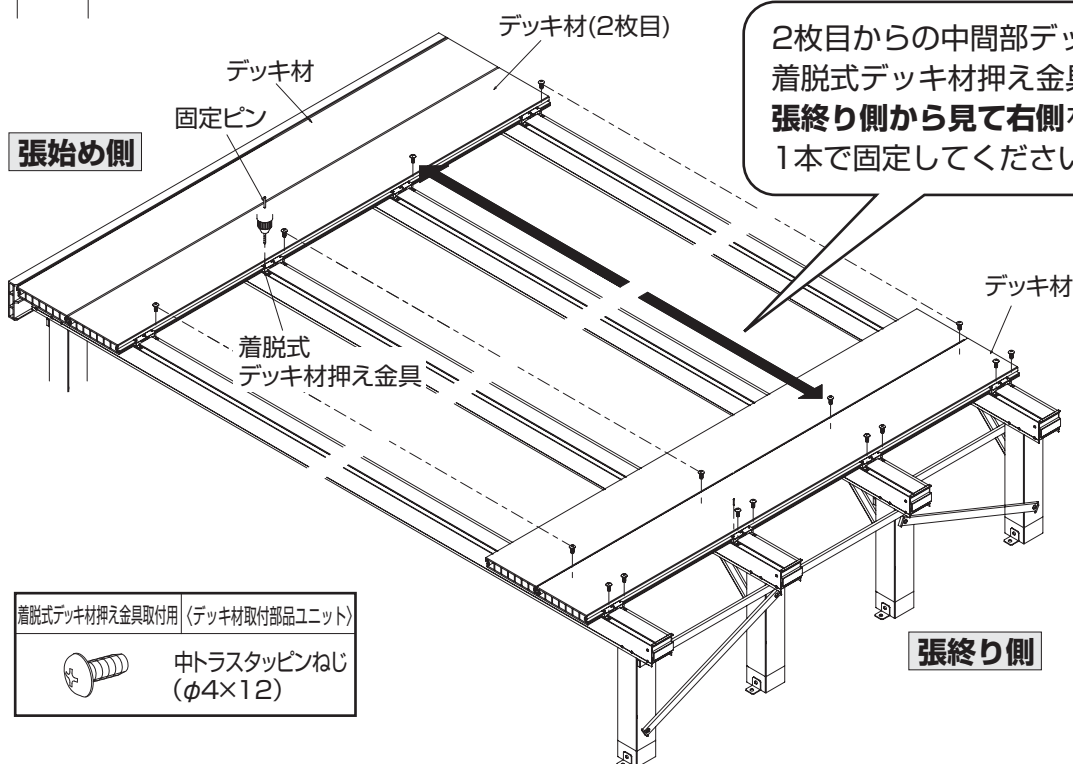
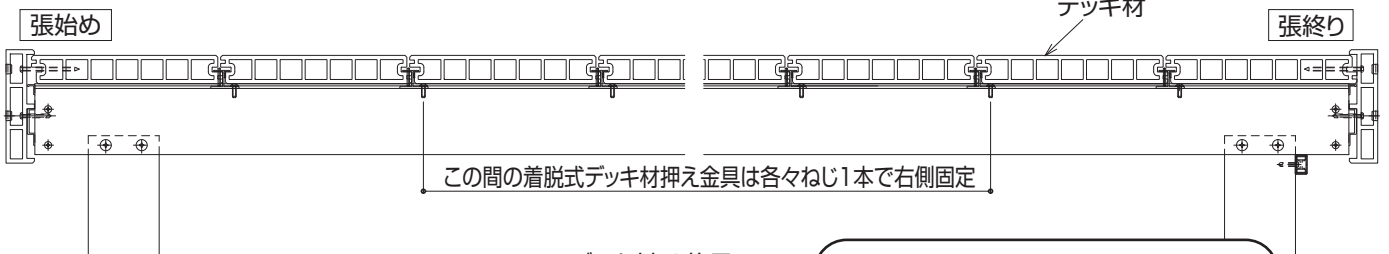


## 2. 2枚目からのデッキ材の固定

- デッキ材を張るときは押し込みすぎないように、着脱式デッキ材を押え金具に軽く差込んで張っていき、押え金具の穴と大引きに加工されている穴をあわせてねじで固定してください。（目地調整用治具2K-35963を使用することで施工が容易になります。）
- 2枚目からの中間部デッキ材の着脱式デッキ材押え金具は**張終り側から見て右側**をねじ1本で固定してください。
- 固定ピンは張終りのデッキ材を除くデッキ材1枚につき、1本取付けてください。



### 断面図



着脱式デッキ材押え金具取付用 (デッキ材取付部品ユニット)



中トラスタッピンねじ  
(φ4×12)

張終り側

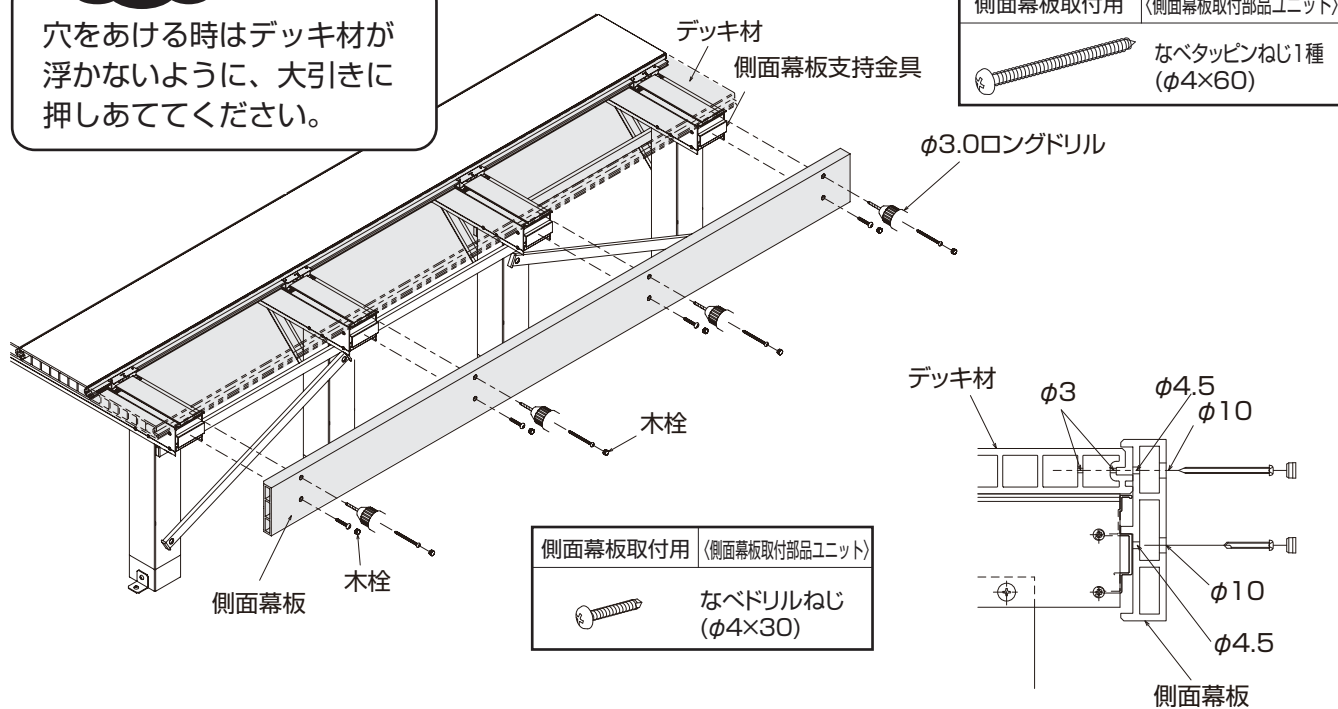
# 32 デッキ材の取付

## 3.張終りのデッキ材と側面幕板の固定

- ①張終りのデッキ材を取付ける前に、直前に固定したデッキ材の着脱式デッキ材押え金具のねじ留めを確認し、張終りのデッキ材を設置してください。
- ②側面幕板を側面幕板支持金具に仮置きし、ねじ留めしてください。  
木栓は最後に取付けてください。
- ③側面幕板の上部・大引き部の穴からデッキ材側面にφ3.0ロングドリルで穴をあけ、ねじ留めしてください。木栓は最後に取付けてください。

### ポイント

穴をあける時はデッキ材が浮かないように、大引きに押しあててください。



### デッキ材の連結の場合

奥行き呼称30(10尺)呼称36(12尺)でデッキ材を連結する場合は、デッキ材とデッキ材の間を5mm離してください。

### ポイント

ケガキ治具を使うと寸法出しが簡単に行えます。



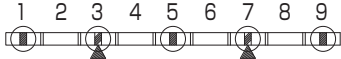
## ■正面幕板の取付

### 正面幕板固定金具、正面幕板支持金具の取付位置

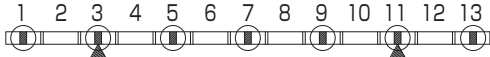
正面幕板固定金具、正面幕板支持金具は、両端部および図に示す位置に取付けてください。  
 (薄幕板取付時は正面幕板固定金具を400mmピッチ以下で取付けてください。)

#### 間口

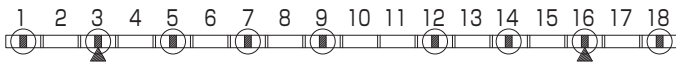
##### 1間



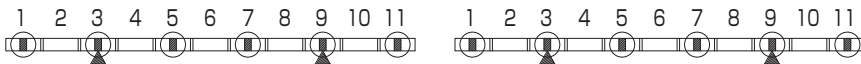
##### 1.5間



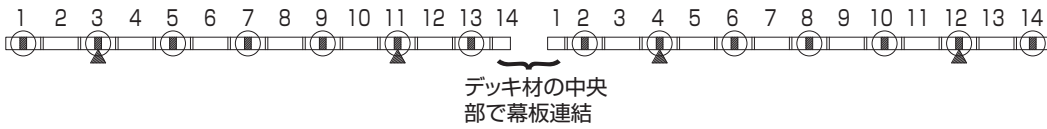
##### 2間



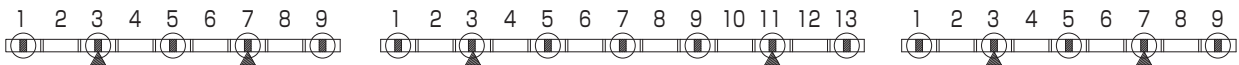
##### 2.5間



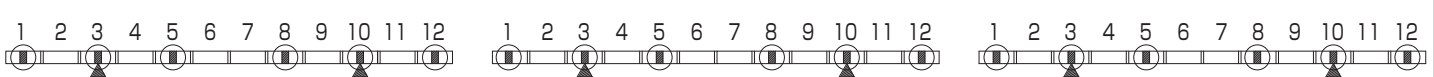
##### 3間



##### 3.5間



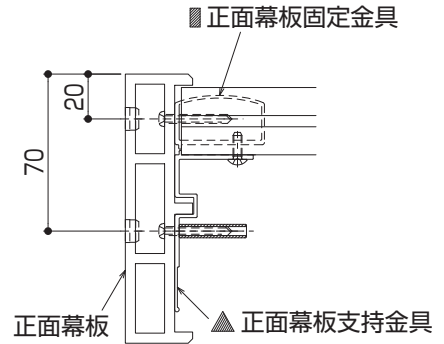
##### 4間



□: デッキ材小口

■: 正面幕板固定金具

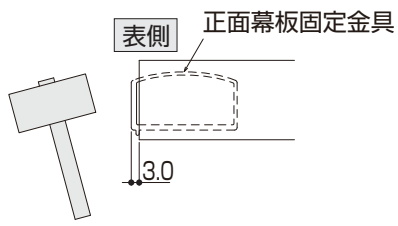
▲: 正面幕板支持金具



# 34 正面幕板の取付

## 1. 正面幕板固定金具、正面幕板支持金具の取付

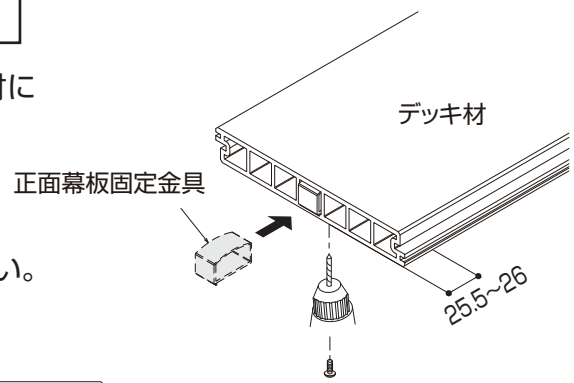
- ① 正面幕板固定金具を挿入し、木ハンマーなどでたたいてデッキ材小口より3mm突出する位置に入れてください。



**ポイント**  
真ん中の中空部に取付けてください。


### 正面幕板固定金具のみ取付の場合

- ② 正面幕板固定金具の中心、デッキ材に穴(φ3.5)をあけてください。



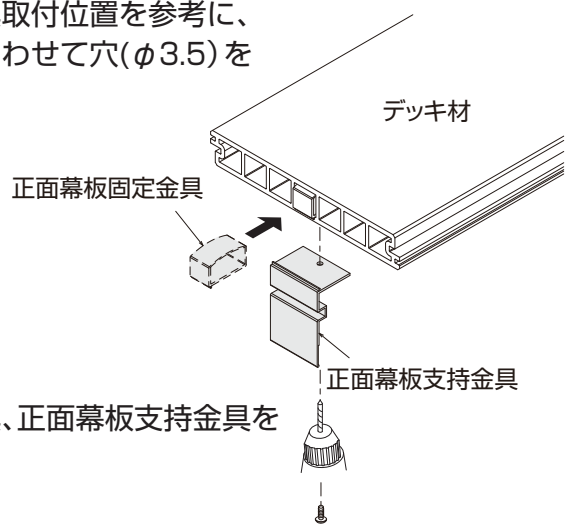
- ③ 正面幕板固定金具を固定してください。




正面幕板固定金具・ 正面幕板支持金具取付用	(正面幕板取付部品ユニット)
	中トラスタッピンねじ (φ4×12)

### 正面幕板固定金具、正面幕板支持金具取付の場合

- ② 正面幕板支持金具取付位置を参考に、金具の穴位置にあわせて穴(φ3.5)をあけてください。



- ③ 正面幕板固定金具、正面幕板支持金具を固定してください。

正面幕板固定金具・ 正面幕板支持金具取付用	(正面幕板取付部品ユニット)
	中トラスタッピンねじ (φ4×12)

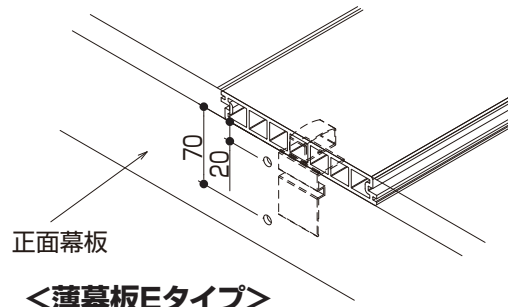
**ポイント**

正面幕板固定金具と正面幕板支持金具は、デッキ材小口より3mm突出し、面が揃うように取付けてください。



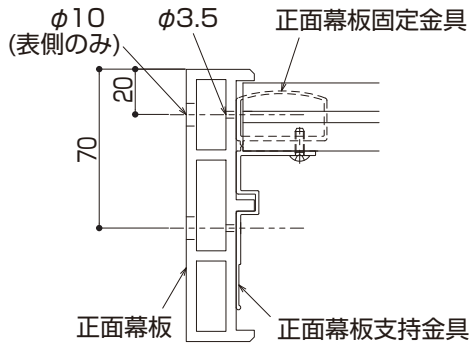
## 2.幕板の加工

デッキ材を設置後、幕板を仮置きし、金具の位置にあわせて幕板に穴加工をしてください。



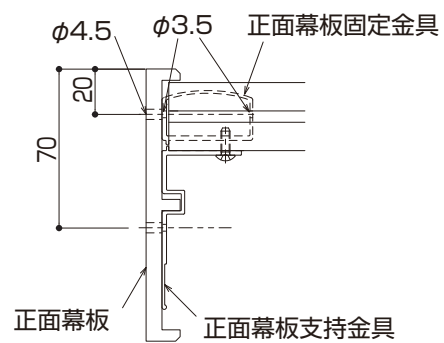
### <厚幕板Dタイプ>

幕板から正面幕板固定金具、正面幕板支持金具まで穴(φ3.5)をあけ、幕板の表面側のみ穴(φ10)をあけてください。



### <薄幕板Eタイプ>

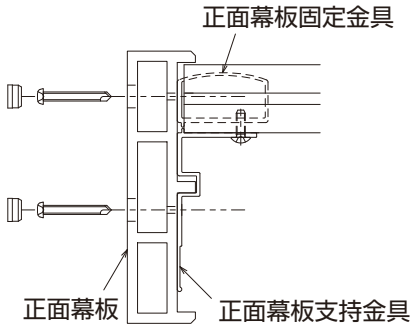
幕板から正面幕板固定金具、正面幕板支持金具まで穴(φ3.5)をあけ、幕板は穴(φ4.5)をあけてください。



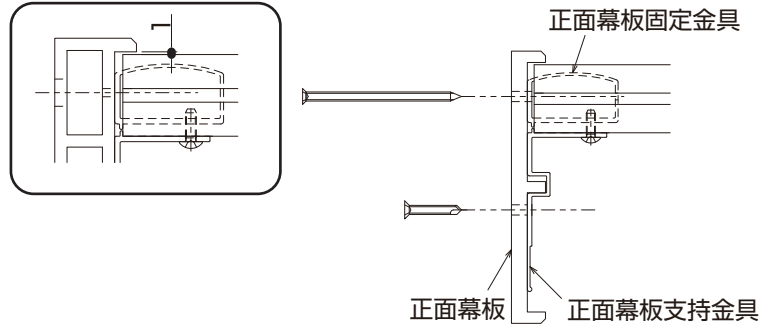
## 3.幕板の取付


高さをあわせながら、デッキ材に取付けた正面幕板固定金具に向かってねじを取付けてください。


### <厚幕板Dタイプ>




### <薄幕板Eタイプ>



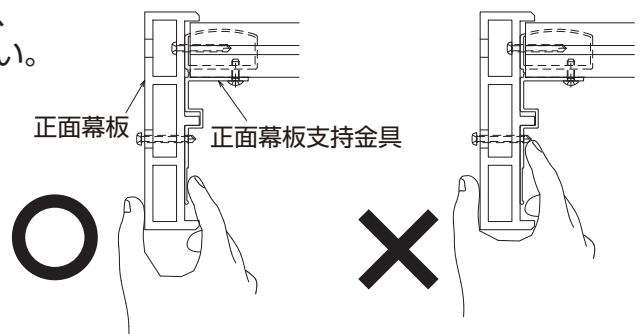
正面幕板取付用	〈正面幕板取付部品ユニット〉
	なべドリルねじ (φ4×30)

正面幕板取付用	〈正面・側面幕板ユニット〉
	皿タッピンねじ1種 (φ4×70)

正面幕板取付用	〈正面・側面幕板ユニット〉
	皿ドリルねじ (φ4×25)

## 注意

正面幕板と正面幕板支持金具をつかむ時は、図のように一段薄い部分をつかんでください。厚い部分をつかむとドリルねじの先端だけがをすおそれがあります。

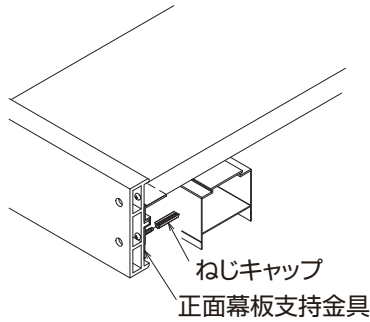




# 36 正面幕板の取付

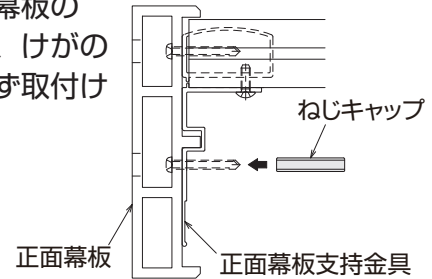
## 4.ねじキャップの取付

正面幕板支持金具を取付けたねじの先端に、ねじキャップを取付けてください。



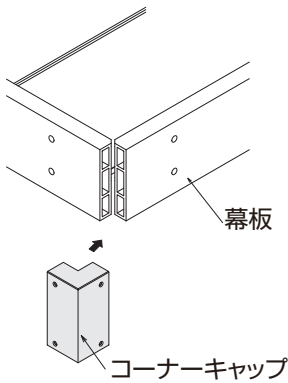
### ポイント

ドリルねじの先端が正面幕板の裏側に飛び出しますので、けがないようにキャップを必ず取付けてください。

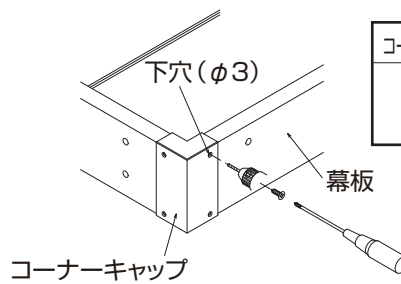



## 5.コーナーキャップの取付

①幕板の上面にあわせてコーナーキャップの位置を決め、幕板コーナー部にコーナーキャップをあててください。



②幕板に下穴(φ3.0)をあけ、ねじ留めしてください。



コーナーキャップ取付用	(コーナーキャップユニット)
	皿タッピンねじ1種 (φ4×12)

### 注意

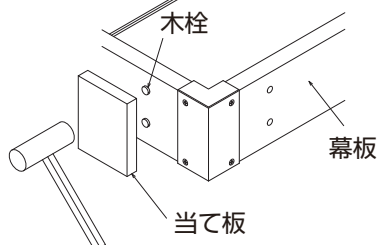
ねじを締付ける時は、ねじが空転しないようドライバーを使い、手で締めてください。

## 6.木栓の取付

幕板に木栓を取付けてください。

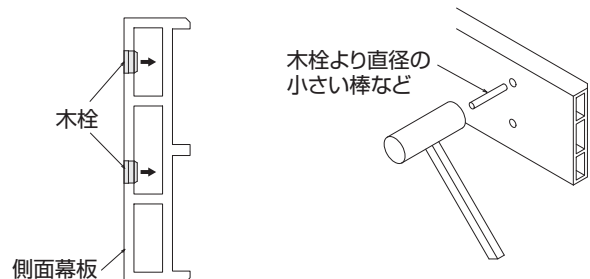
### お願い

木栓が幕板に入りすぎないように、当て板をして取付けてください。



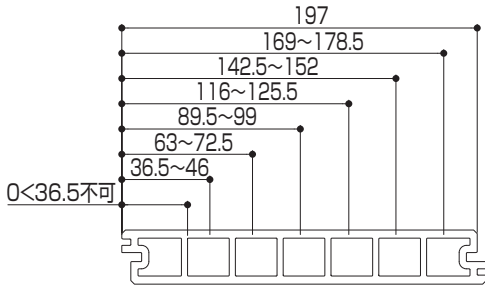
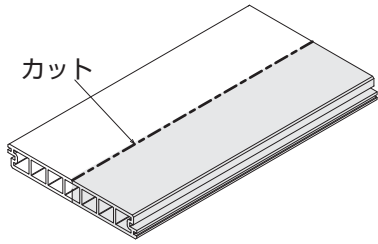
### <木栓を外す場合>

木栓は、外して再度利用できます。幕板中空部へたたいて落とし、幕板取付ねじを全て外し、幕板の小口から出して再度利用してください。



## ■端部の幅調整

- ①デッキ材は現場サイズにあわせてカットしてください。  
下記の範囲でたて切りが可能です。



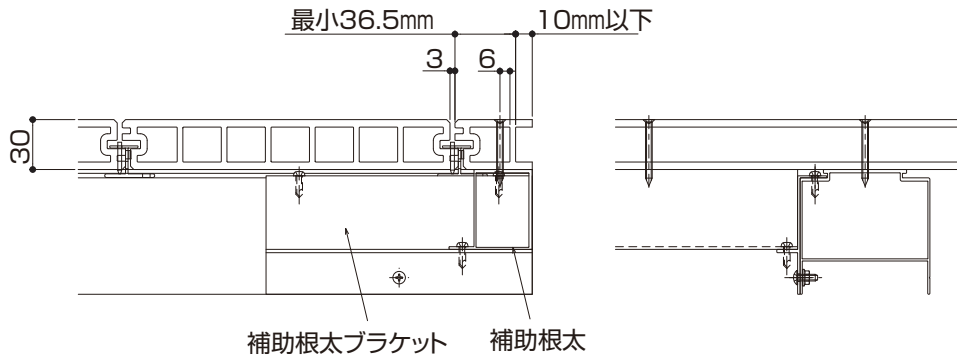
### ポイント

幅調整可能範囲は36.5mm(目地幅3.0mm除く)以上になります。  
また、中空部を切断する場合は持出し部を10mm以下にしてください。

### 注意

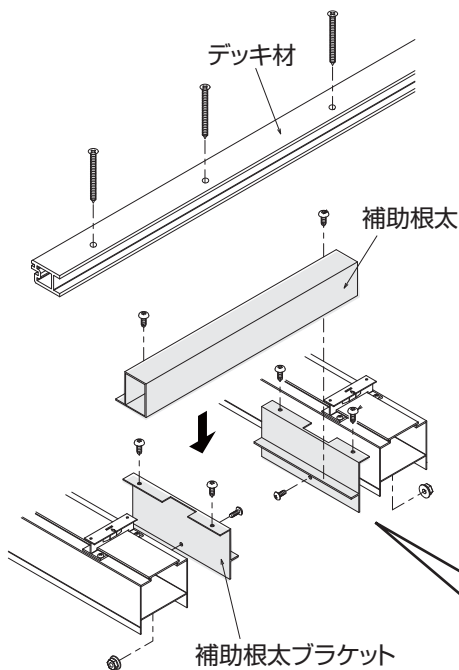
たて切りした場合は、変形しやすくなりますので、必ず上からのねじ固定により強制的に固定してください。

- ②幅調整したデッキ材を大引きに固定してください。  
固定ねじは中空部側のリブの肉厚+6mmの位置に取付けてください。



### ポイント

デッキ材の幅をたて切りする場合は、補助根太ユニット(ANK-PC3)と補助根太ブラケットユニット(ANK-PC1)を使用してください。  
またデッキ材は大引きおよび大引き中間部で固定してください。



補助根太取付用 補助根太ブラケット取付用	〈補助根太ブラケットユニット〉
	なべドリルねじ (φ4×13)

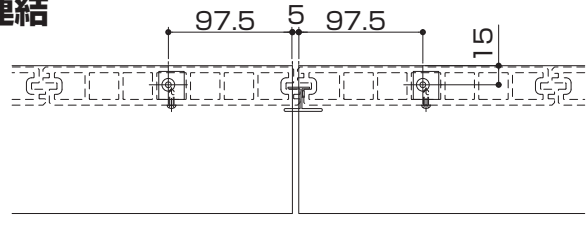
補助根太ブラケット取付用	〈補助根太ブラケットユニット〉
	フランジ付六角ナット (M4用)
	中トラスタッピンねじ (φ4×12)

補助根太ブラケットが押え金具や束柱固定ねじと干渉する場合は補助根太ブラケットを加工して取付けてください。

# 38 幕板連結部の取付

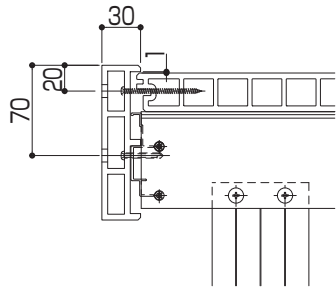
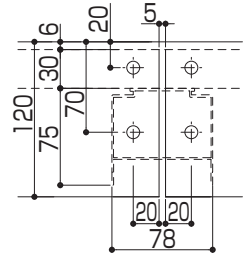
## ■幕板連結部の取付

### ●正面幕板の連結

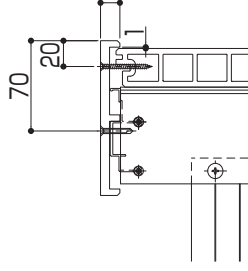


### ●側面幕板の連結

#### <厚幕板Dタイプ>



#### <薄幕板Eタイプ>



側面幕板取付用 (正面・側面幕板ユニット)	皿タッピンねじ1種 (φ4×70)
-----------------------	-------------------

側面幕板取付用 (正面・側面幕板ユニット)	皿ドリルねじ (φ4×25)
-----------------------	----------------

側面幕板取付用 (側面幕板取付部品ユニット)	なべタッピンねじ1種 (φ4×60)
------------------------	--------------------

側面幕板取付用 (側面幕板取付部品ユニット)	なべドリルねじ (φ4×30)
------------------------	-----------------

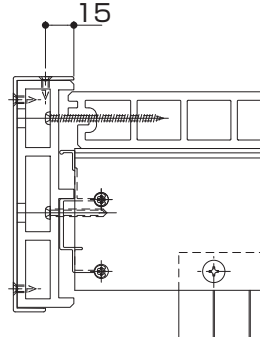
### ●幕板直線連結カバー(オプション)の取付

幕板上面(厚幕板：30mm、薄幕板：15mm)にあわせ、上下を決め、左右の幕板に対し、幕板直線連結カバーを均等にあわせて、ドリルで下穴(φ3.0)をあけて幕板直線連結カバーを取付けてください。

注 意

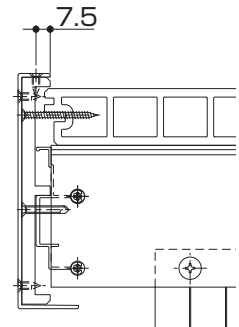
ねじを締付ける時は、ねじが空転しないようドライバーを使い、手で締めてください。

#### <厚幕板Dタイプ>

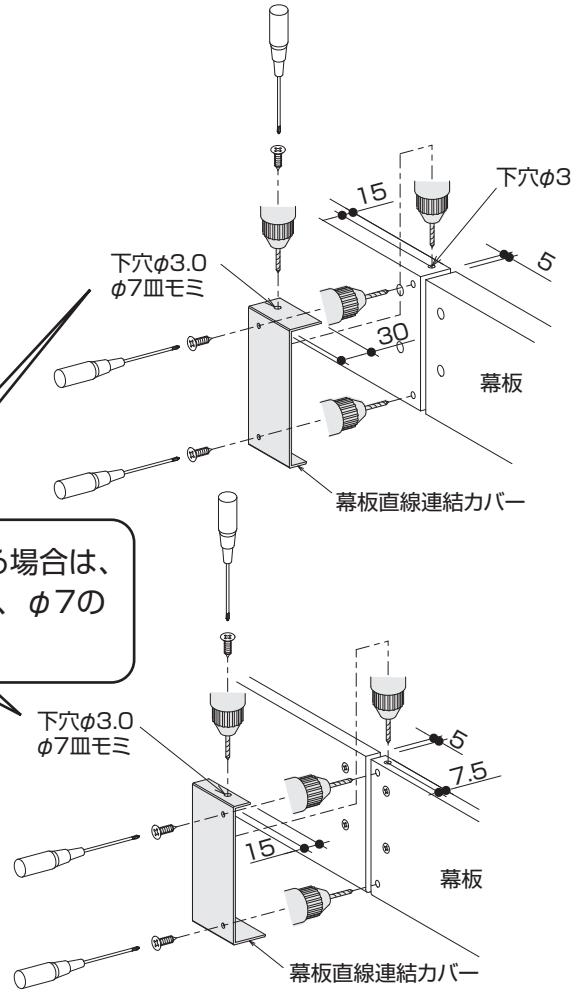


幕板カバー取付用 (正面/側面幕板取付部品ユニット)	皿タッピンねじ1種 (φ4×12)
----------------------------	-------------------

#### <薄幕板Eタイプ>



幕板カバー取付用 (幕板直線連結カバーユニット)	皿タッピンねじ1種 (φ4×12)
--------------------------	-------------------



連結カバーの上面を固定する場合は、ドリルで下穴(φ3.0)をあけ、φ7の皿モミ加工をしてください。

## ■変形対応【奥行違い】(オプション)

デッキの形状が奥行違いになる時の対応方法

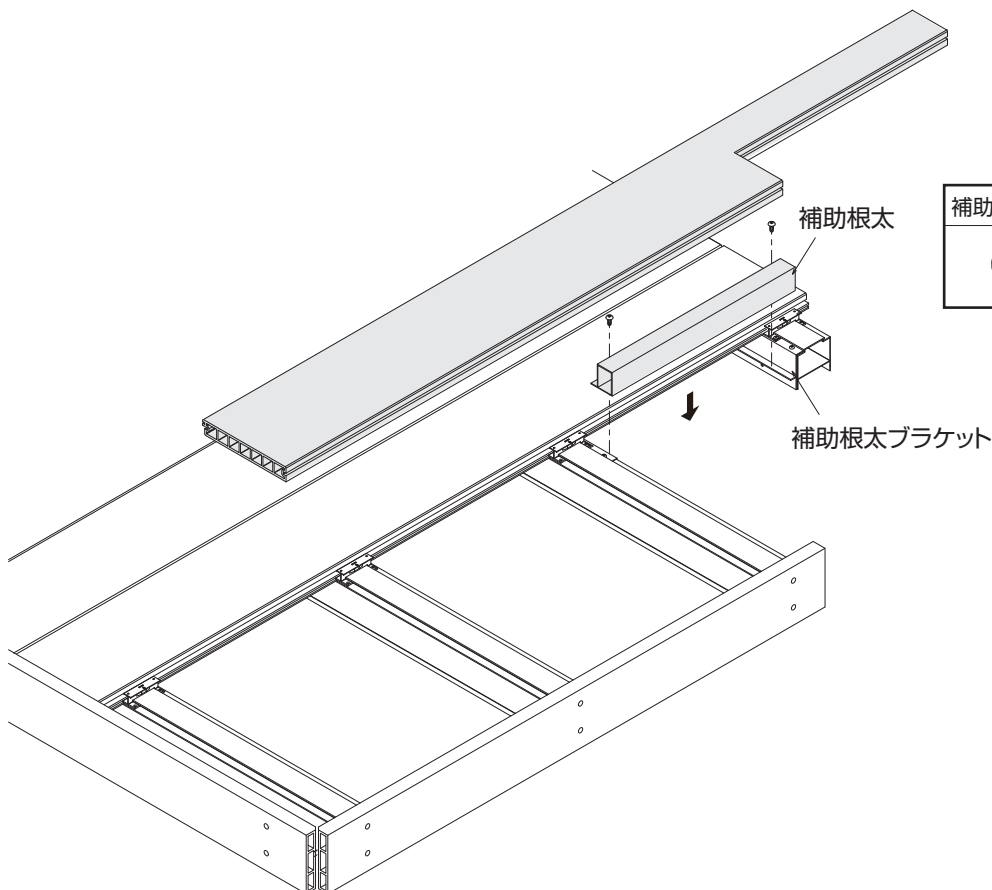
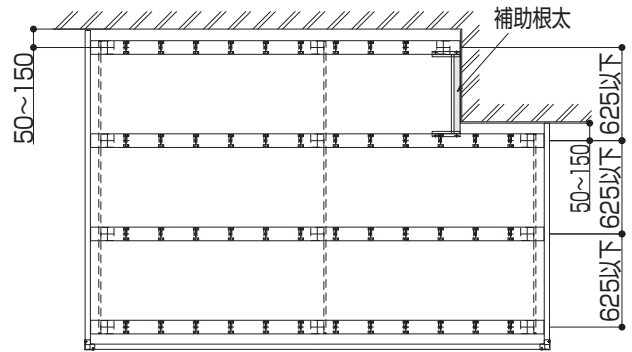
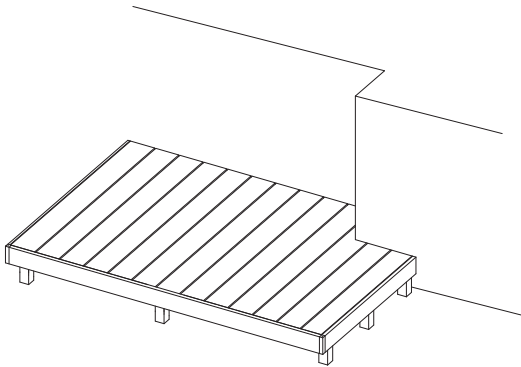
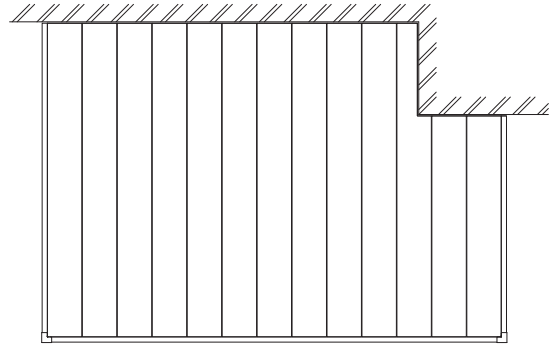
### 躯体側の場合


デッキ材を切欠いた場合、以下のオプションが必要です。

- ・幕板取付用補助根太 **ANK-PC3(L=2000)**
- ・補助根太ブラケットユニット **ANK-PC1**
- ・上止め固定ねじユニット **ANK-PA7**

### お願い

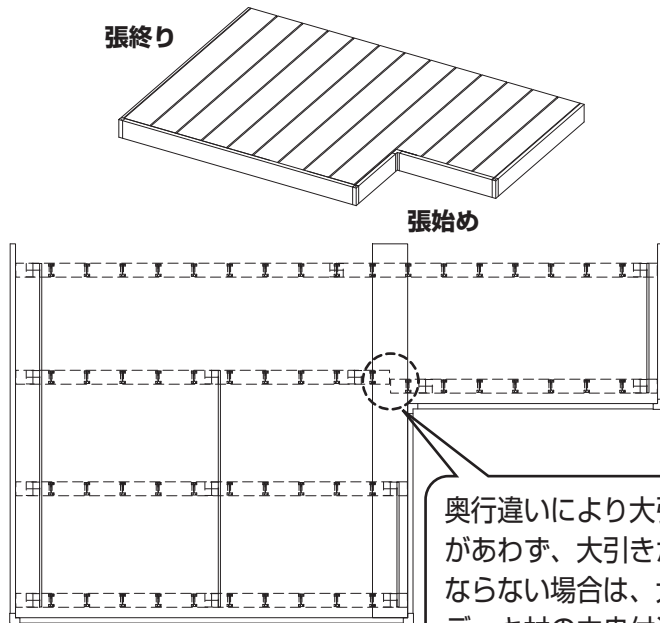
- 奥行違いにする場合、躯体側デッキ材の小口から大引き芯までの距離は50~150mmにしてください。  
また、各大引きの間隔は625mm以下にしてください。
- 入隅になるデッキ材は幕板取付用補助根太に対して、上からねじで固定してください。



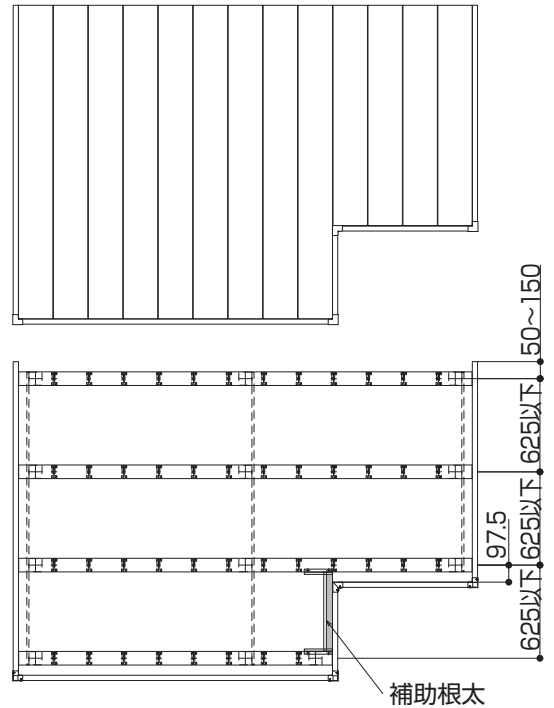
補助根太取付用	〈補助根太ブラケットユニット〉
	なべドリルねじ (φ4×13)

# 40 変形対応【奥行違い】（オプション）

## 正面側の場合



奥行違いにより大引きピッチがあわず、大引きが通しにならない場合は、大引きをデッキ材の中央付近まで伸ばしてください。

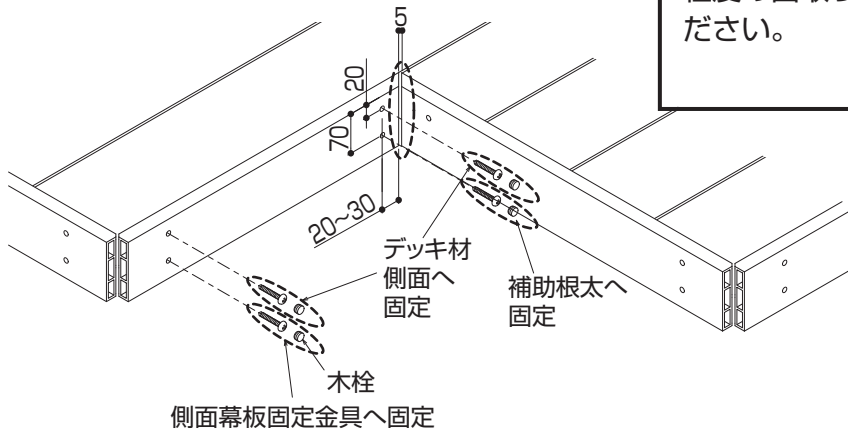
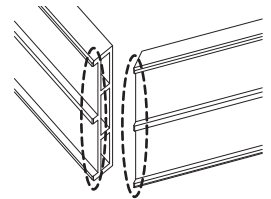


### 注意

入隅部の幕板は45°の突合せとし、5mmの目地をとってください。

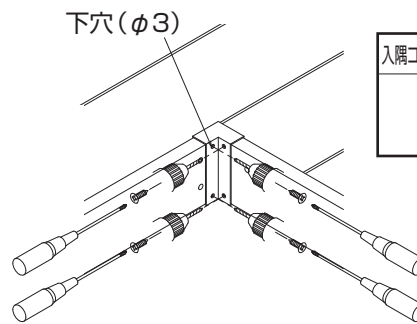
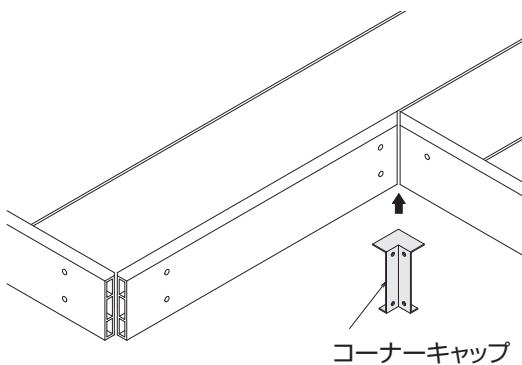
### お願い

入隅部の幕板は先端部を安全確保のため、C0.3程度の面取りをかけてください。



側面幕板取付用	〈側面幕板取付部品ユニット〉
	なべドリルねじ (φ4×30)

## 入隅コーナーキャップの取付



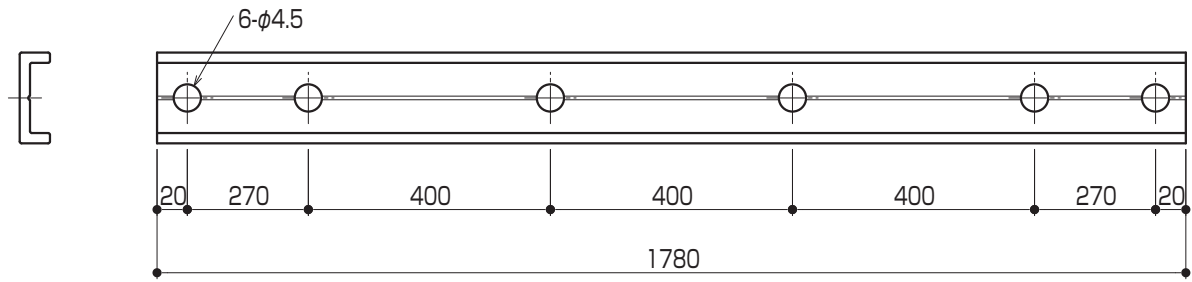
入隅コーナーキャップ取付用	〈入隅コーナーキャップユニット〉
	皿タッピンねじ1種 (φ4×12)

### 注意

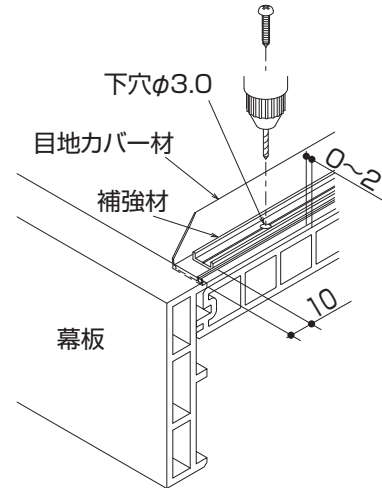
ねじを締付ける時は、ねじが空転しないようドライバーを使い、手で締めてください。


## ■壁側目地カバー材の取付(オプション)

①補強材にφ4.5の穴加工をしてください。

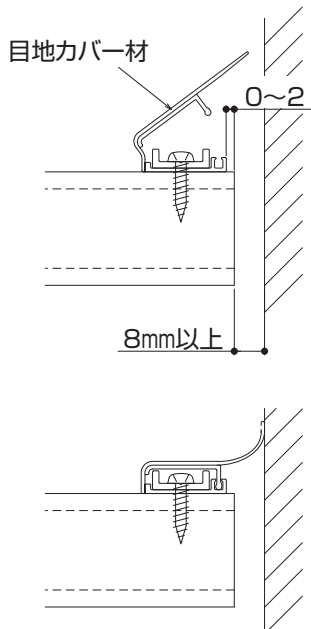


- ②目地カバー材をデッキ材の小口にあわせるか、  
または1~2mm下げて配置してください。
- ③目地カバー材の中に補強材を目地カバー材端部から  
10mm下げて配置してください。
- ④①であけた穴位置に目地カバー材とデッキ材に  
下穴(φ3.0)をあけ、ねじで固定してください。



目地カバー材取付用 (壁側目地カバー材ユニット)	
	なべタツピンねじ1種 (φ4×25)

⑤目地カバー材のふたを締めてください。



### 注意

外壁材などで塩ビコートされた商品との接触は、  
色移りが起こりますので使用できません。

# 42 デッキ材小口ふさぎ材の取付(オプション)

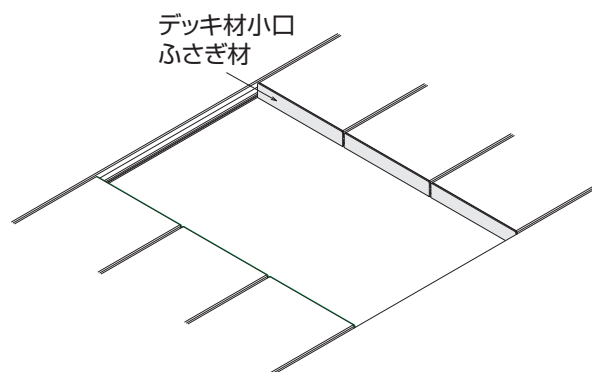
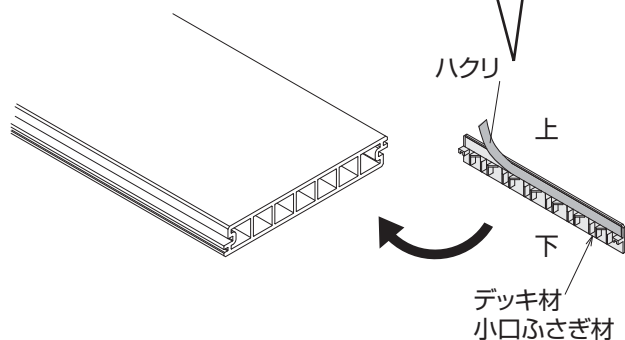
## ■デッキ材小口ふさぎ材の取付(オプション)

デッキ材の小口を部分的にふさぎたい場合の対応方法です。

**デッキ材の小口が直角になっている場合のみ**取付けできます。

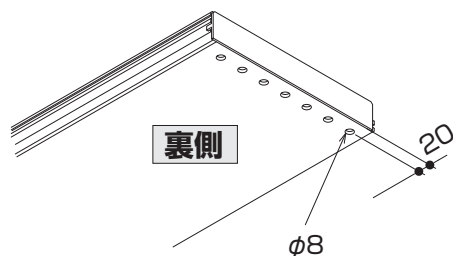
小口面は平滑に仕上げ、ゴミなどの付着がないように仕上げてください。

デッキ材小口ふさぎ材のハクリ紙をはがし、  
両面テープ側を上にして小口にあわせて  
10秒間圧着してください。



### お願い

デッキ材1本の両端に張る場合は、中空部全ての  
端部(裏側)にφ8の水抜き穴をあけてください。

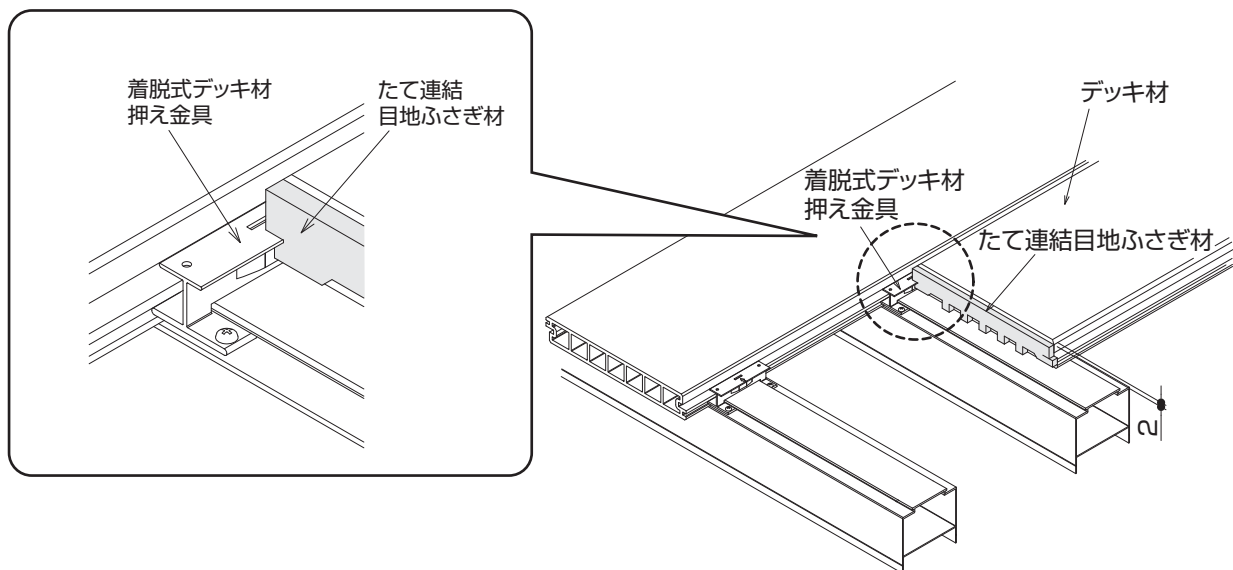




## ■たて連結目地ふさぎ材の取付(オプション)

デッキ材をたて連結する際に設定する目地をふさぐ場合に使用します。  
たて連結目地ふさぎ材の上面は、デッキ材上面より2mm程低い位置になります。

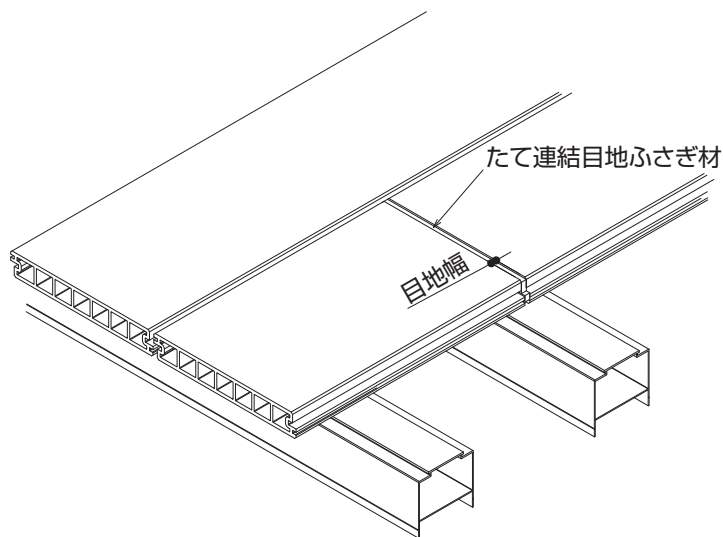
①たて連結目地ふさぎ材のスリットを先に固定した着脱式デッキ材押え金具に引っかけてください。



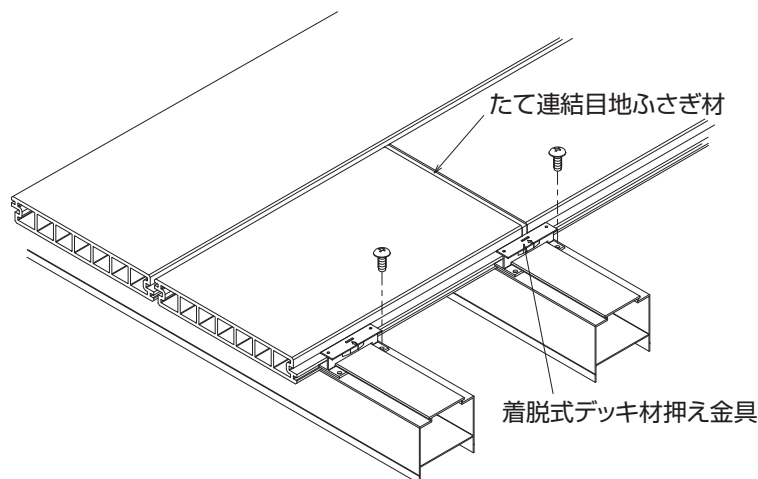
②たて連結するデッキ材を取付けてください。


### お願い

目地幅はデッキ材長さにより違います。  
デッキ材長さ $\leq 1995$ mmの場合  
：目地幅5mm  
1995mm $<$ デッキ材長さ $\leq 2395$ mmの場合  
：目地幅6mm



③たて連結目地ふさぎ材張終り側のスリットに着脱式デッキ材押え金具を引っ掛け、デッキ材を固定し、次のデッキ材を張ってください。



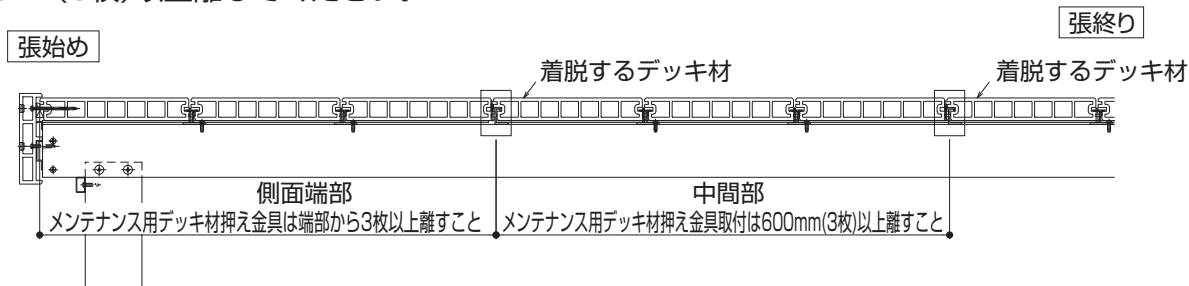
着脱式デッキ材押え金具固定用	(デッキ材取付部品ユニット)
	中トラスタッピンねじ ( $\phi 4 \times 12$ )

# 44 メンテナンス用デッキ材押え金具の取付(オプション)

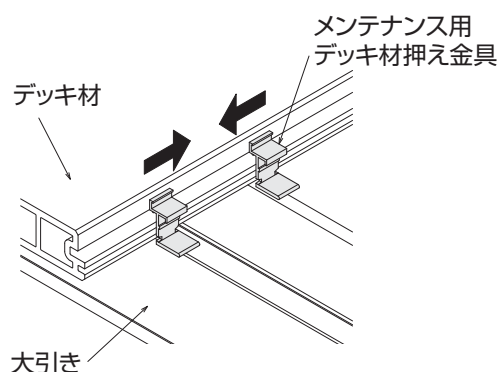
## ■メンテナンス用デッキ材押え金具の取付(オプション)

【デッキ材を初めて組立てる時にメンテナンス用デッキ材押え金具を取付ける場合】

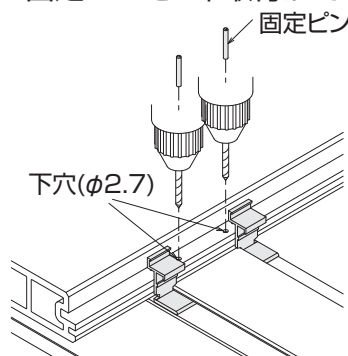
メンテナンス用デッキ材押え金具を取付けできるのは、張始め、張終りのデッキ材を含め3枚以上離れた目地です。中間部ではメンテナンス用デッキ材押え金具を取付けた目地から600mm(3枚)以上離してください。



- 1 メンテナンス用デッキ材押え金具を取付ける目地を決めてください。
- 2 張終ったデッキ材と大引きにあわせてメンテナンス用デッキ材押え金具を取付け、大引きにかかるように両側とも寄せてください。



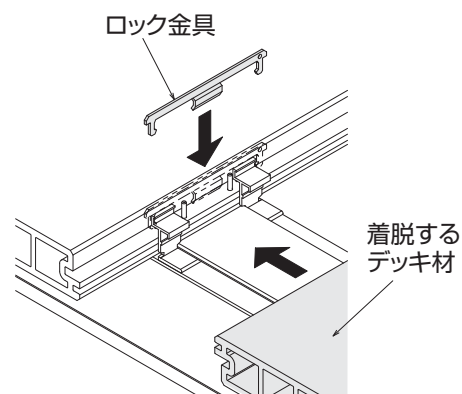
- 3 デッキ材1枚につき1箇所移動を止めるための固定ピンを取付けてください。  
引寄せたメンテナンス用デッキ材押え金具の内々に沿わせ、下穴(φ2.7)をあけ、張終ったデッキ材へ固定ピンを2本取付けてください。



### 注意

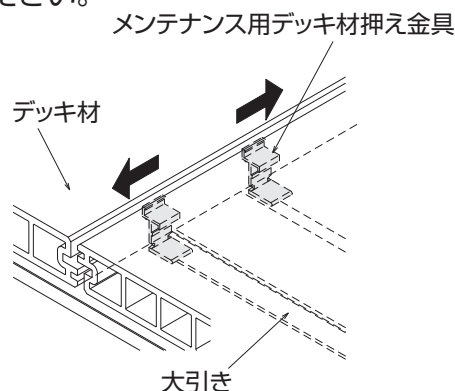
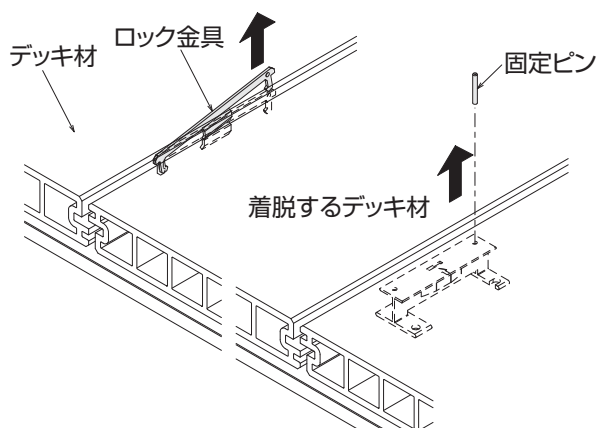
デッキ材のみ下穴(φ2.7)をあけ、大引きには穴をあけないようにしてください。

- 4 上からロック金具を付けて、次のデッキ材を張ってください。

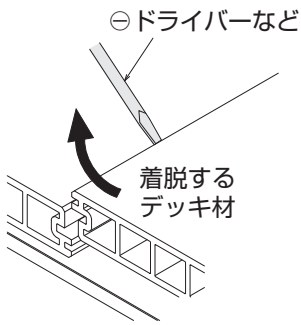


## 【メンテナンス用デッキ材押え金具によるデッキ材の外し方】

- 1 ロック金具を外してください。
- 2 反対側の目地にある固定ピンを抜いてください。
- 3 メンテナンス用デッキ材押え金具を横に移動させ、大引きから外してください。

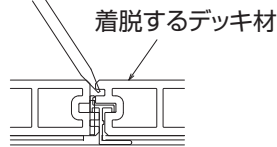


- ④着脱するデッキ材を持ち上げ、手前に引きながら外してください。



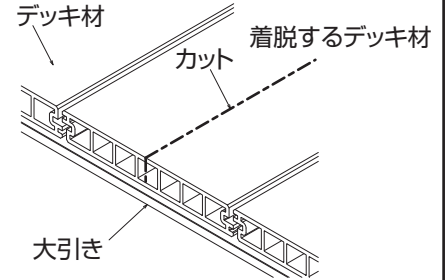
### ポイント

デッキ材上部の凹みに  
⊖ドライバーなどを  
差込み、持上げてくだ  
さい。



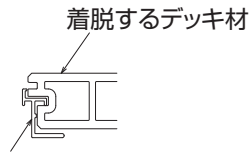
### メンテナンス用デッキ材押え金具を使用していない場合

- 外す場所と同じデッキ材を用意してください。
- デッキ材厚さは30mmです。大引きに届かないようにカットして、外してください。

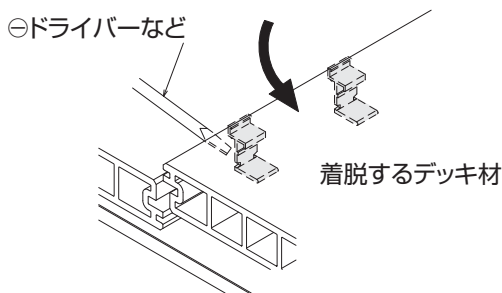


### 【メンテナンス用デッキ材押え金具の取付け方】

- ①着脱するデッキ材にメンテナンス用デッキ材押え金具を、大引きより広めにセットして仮固定してください。



- ②着脱するデッキ材を取付けてください。  
メンテナンス用デッキ材押え金具と張ってあるデッキ材が干渉しますので  
⊖ドライバーなどで押込んでください。

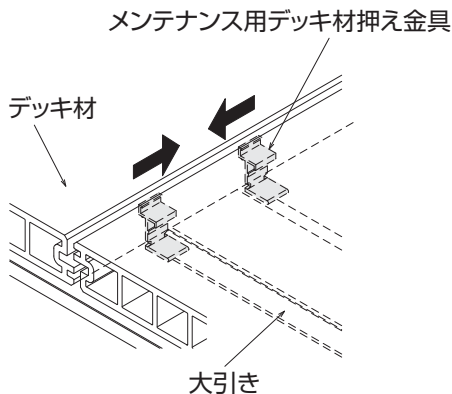


### ポイント

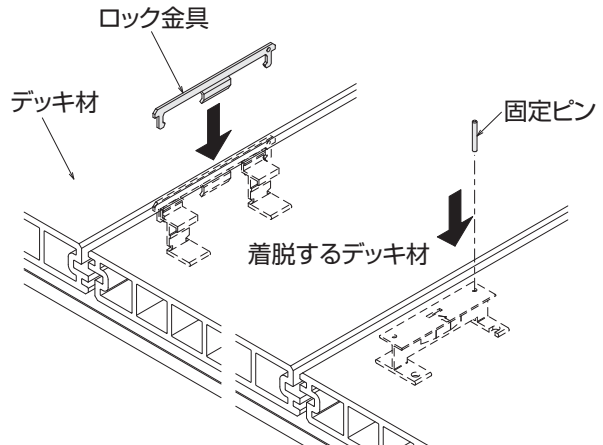
斜め方向からメンテナンス用デッキ材押え金具の下部を押込んでください。



- ③メンテナンス用デッキ材押え金具を大引きにかかるように両側とも寄せてください。



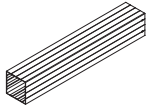
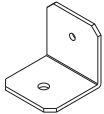
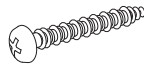


- ④反対側の目地に着脱するデッキ材の固定ピンを1本取付けてください。  
⑤ロック金具を取付けてください。



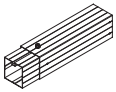
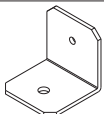
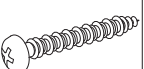





新しいデッキ材の場合は、上から下穴(φ2.7)をあけ、固定ピンを1本取付けてください。

## 同梱一覧

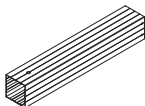
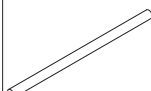

### ■束柱ユニット(固定式) ANK-AS-#XB

姿 図	部材		部品		
					
品 名	束	束柱ブラケット	コンクリートねじ	なべドリルねじ (φ4×13)	トラスタッピンねじ (φ5×10)
品 番	-	4K-14291	4K-19721	DN-4013	ET-5010
個 数	2	2	2	2	8
	3	3	3	3	12
	6	10	10	10	24
備 考	固定束柱	束柱固定用	束柱ブラケット固定用	束柱ブラケット取付用	大引き取付用

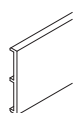



### ■束柱ユニット(調整式) ANK-A#-#XB

姿 図	部材		部品						
									
品 名	調整束柱	束柱ブラケット	コンクリートねじ	なべドリルねじ (φ4×13)	トラスタッピンねじ (φ5×10)	なべドリルねじ (φ4×13)	方杖	なべドリルねじ (φ4×13)	
品 番	-	4K-14291	4K-19721	DN-4013	ET-5010	DN-4013	K-11822	DN-4013	
個 数	T-2	2	2	2	8	4	-	-	
	T-3	3	3	3	12	6	-	-	
	T-6	6	10	10	10	24	12	-	
	H-2	2	2	2	2	8	4	-	
	H-3	3	3	3	3	12	6	-	
	H-6	6	10	10	10	24	12	-	
	L-2	2	2	2	2	8	4	2	8
	L-3	3	3	3	3	12	6	3	12
L-6	6	10	10	10	24	12	6	24	
備 考	調整束柱	束柱固定用	束柱ブラケット固定用	束柱ブラケット取付用	大引き取付用	高さ固定用	高床用	方杖取付用	

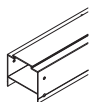
### ■束柱ユニット(埋込式) ANK-AU-#XB

姿 図	部材		部品
			
品 名	束	アンカー	トラスタッピンねじ (φ5×10)
品 番	-	K-11711	ET-5010
個 数	2	2	8
	3	3	12
	6	6	24
備 考	埋込束柱	束柱固定用	大引き取付用

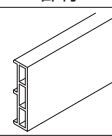
### ■正面・側面幕板ユニット ANK-CE##-# (薄幕板Eタイプ)

姿 図	部材		部品		
					
品 名	幕板	皿ドリルねじ (φ4×25)	皿タッピンねじ1種 (φ4×70)	スペーサー	
品 番	-	DF-4025	AF-4070D7	2K-22388	
個 数	09-1	1	2	3	1
	09-2	2	4	6	2
	12-1	1	3	5	2
	12-2	2	6	10	4
	15-1	1	3	5	2
	15-2	2	6	10	4
	18-1	1	4	7	3
	18-2	2	8	14	6
	21-1	1	4	7	3
	21-2	2	8	14	6
	22-2	2	10	18	8
	24-1	1	5	9	4
	24-2	2	10	18	8
	26-1	1	5	9	4
	27-1	1	5	9	4
	27-2	2	10	18	8
10-1	1	3	5	2	
10-2	2	6	10	4	
20-1	1	4	7	3	
20-2	2	8	14	6	
備 考		幕板取付用	幕板取付用		

### ■大引きユニット ANK-BA##-#XA

姿 図	部材	
		
部材名	大引き	
品 番	-	
個 数	##-1	1
	##-2	2
	##-3	3
	##-4	4

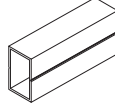
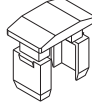


### ■正面・側面幕板ユニット ANK-CD##-# (厚幕板Dタイプ)

姿 図	部材	
		
部材名	幕板	
品 番	-	
個 数	##-1	1
	##-2	2

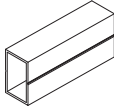
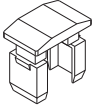


■デッキ材ユニット ANK-EA##-#

部材		
姿 図		
部材名	デッキ材	
品 番	-	
個 数	##-1	1
	##-2	2
	##-3	3

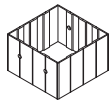

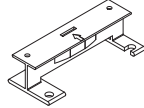

■根がらみユニット ANK-F##-#XB

部材		部品		
姿 図				
品 名	根がらみ	格子キャップ	なべドリルねじ (φ4×19)	穴塞ぎキャップ
品 番	-	K-31810	DN-4019	K-33675
個 数	09-2	2	4	4
	09-3	3	6	6
	12-2	2	4	6
	12-3	3	6	9
	15-2	2	4	6
	15-3	3	6	9
	18-2	2	4	8
	18-3	3	6	12
	21-2	2	4	10
21-3	3	6	15	
備 考			根がらみ取付用	


■筋交ユニット ANK-G-2XB

部材		部品		
姿 図				
品 名	根がらみ	格子キャップ	なべドリルねじ (φ4×19)	穴塞ぎキャップ
品 番	-	K-31810	DN-4019	K-33675
個 数	2	4	4	4
備 考			筋交取付用	

■大引き連棟用補強材ユニット ANK-J-#XB

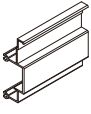


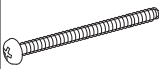

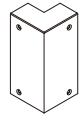


部材		部品		
姿 図				
品 名	連棟用補強材	中トラスタッピンねじ (φ4×12)	着脱式 デッキ材押え金具	固定ピン
品 番	5K-12651	EM-4012D8	5K-17831	5K-12686
個 数	2	2	8	2
	3	3	12	3
	4	4	16	4
	5	5	20	5
備 考	大引き連結用	連結用補強材取付用	デッキ材固定用	デッキ材固定用

■デッキ材取付部品ユニット ANK-KA##-#XB

部材		部品		
姿 図				
品 名	着脱式 デッキ材押え金具	中トラスタッピンねじ (φ4×12)	固定ピン	
品 番	5K-17831	EM-4012D8	5K-12686	
個 数	18-2	16	23(3)	10(2)
	18-3	24	33(3)	10(2)
	18-4	32	43(3)	10(2)
	18-5	40	53(3)	10(2)
	26-2	24	31(3)	14(2)
	26-3	36	45(3)	14(2)
	26-4	48	59(3)	14(2)
	26-5	60	73(3)	14(2)
	36-2	34	41(3)	19(2)
	36-3	51	60(3)	19(2)
	36-4	68	79(3)	19(2)
	36-5	85	98(3)	19(2)
	44-2	42	49(3)	23(2)
44-3	63	72(3)	23(2)	
44-4	84	95(3)	23(2)	
44-5	105	118(3)	23(2)	
備 考	デッキ材固定用	着脱式デッキ材押え金具 取付用	デッキ材固定用	

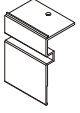



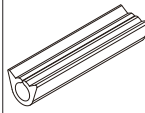

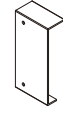

( )は予備数です。

## ■側面幕板取付部品ユニット ANK-KC-#XA

		部品							
姿 図									
品 名	側面幕板支持金具	中トラスタッピンねじ (φ4×25)	なべドリルねじ (φ4×30)	なべタッピンねじ1種 (φ4×60)	木栓	コーナーキャップ	皿タッピンねじ1種 (φ4×12)	スペーサー	
品 番	<b>5K-16053</b>	<b>BM-4025GD8</b>	<b>DN-4030</b>	<b>AP-4060</b>	<b>2K-37389</b>	<b>2K-37643</b>	<b>AF-4012D7</b>	<b>2K-22388</b>	
個 数	2	4	16	6	6	8	2	8	4
	3	6	24	8	8	12	2	8	6
	4	8	32	11	11	16	2	8	8
	5	10	40	14	14	20	2	8	10
	6	12	48	16	16	20	2	8	12
	7	14	56	19	19	24	2	8	14
	備 考	側面幕板取付用	側面幕板支持金具取付用	側面幕板取付用	側面幕板取付用	幕板取付用	—	コーナーキャップ取付用	側面幕板取付用

		部品	
姿 図			
品 名	幕板直線連結カバー	皿タッピンねじ1種 (φ4×12)	
品 番	<b>2K-37644</b>	<b>AF-4012D7</b>	
個 数	2	—	—
	3	—	—
	4	—	—
	5	—	—
	6	2	6
	7	2	6
備 考	—	幕板連結カバー取付用	

## ■正面幕板取付部品ユニット ANK-KE##XA

		部品							
姿 図									
品 名	正面幕板支持金具	正面幕板固定金具	中トラスタッピンねじ (φ4×12)	なべドリルねじ (φ4×30)	ねじキャップ	木栓	幕板直線連結カバー	皿タッピンねじ1種 (φ4×12)	
品 番	<b>5K-16052</b>	<b>5K-16051</b>	<b>EM-4012D8</b>	<b>DN-4030</b>	<b>3K-20408</b>	<b>2K-37389</b>	<b>2K-37644</b>	<b>AF-4012D7</b>	
個 数	18	2	5	7	2	7	—	—	
	26	2	7	9	2	9	—	—	
	36	2	9	9	2	11	—	—	
	44	4	12	12	4	16	1	3	
	54	4	14	14	4	18	1	3	
	62	6	17	17	6	23	2	6	
	72	6	18	18	6	24	2	6	
備 考	正面幕板取付用	正面幕板取付用	正面幕板支持金具・ 正面幕板固定金具取付用	幕板取付用	ねじ先端保護用	幕板取付用		幕板直線連結カバー取付用	



## ■オプション一覧

### ■ケガキ治具ユニット ANK-PA6

部品	
姿 図	
品 名	ケガキ治具
品 番	<b>2K-36873</b>
個 数	1
備 考	—

### ■上止め固定ねじユニット ANK-PA7

部品	
姿 図	
品 名	皿タッピンねじ (φ4×40)
品 番	<b>AF-4040D7</b>
個 数	10
備 考	—

### ■メンテナンス用デッキ材押え金具ユニット ANK-PA8

部品	
姿 図	
品 名	メンテナンス用 デッキ材押え金具
品 番	<b>5K-17832</b>
個 数	40
備 考	デッキ材固定用
品 名	ロック金具
品 番	<b>5K-17833</b>
個 数	20
備 考	押え金具はずれ止め

### ■補助根太ブラケットユニット ANK-PC1

部品					
姿 図					
品 名	補助根太ブラケット	なべドリルねじ (φ4×13)	中トラスタッピンねじ (φ4×12)	フランジ付六角ナット (M4用)	なべドリルねじ (φ4×13)
品 番	<b>5K-12650</b>	<b>DN-4013</b>	<b>EM-4012D8</b>	<b>4K-13546</b>	<b>DN-4013</b>
個 数	2	4	2	2	4
備 考	—	補助根太ブラケット取付用			補助根太取付用

### ■幕板取付用補助根太ユニット ANK-PC3

部品	
姿 図	
品 名	連結材
品 番	—
個 数	1
備 考	—
品 名	なべドリルねじ (φ4×13)
品 番	<b>DN-4013</b>
個 数	8
備 考	—

### ■壁側目地カバー材ユニット ANK-PC5

部品	
姿 図	
品 名	補強材
品 番	—
個 数	1
備 考	—
品 名	目地カバー材
品 番	<b>3K-21021</b>
個 数	1
備 考	—
品 名	なべタッピンねじ (φ4×25)
品 番	<b>AP-4025</b>
個 数	6
備 考	目地カバー材取付用

### ■たて連結目地ふさぎ材 ANK-PC9

部品	
姿 図	
品 名	たて連結目地ふさぎ材
品 番	<b>3K-22516</b>
個 数	10
備 考	—

### ■コーナーキャップユニット ANK-PD1

部品	
姿 図	
品 名	コーナーキャップ
品 番	<b>2K-37643</b>
個 数	1
備 考	—
品 名	皿タッピンねじ1種 (φ4×12)
品 番	<b>AF-4012D7</b>
個 数	4
備 考	コーナーキャップ取付用

### ■幕板直線連結カバーユニット ANK-PD2

部品	
姿 図	
品 名	幕板直線連結カバー
品 番	<b>2K-37644</b>
個 数	1
備 考	—
品 名	皿タッピンねじ1種 (φ4×12)
品 番	<b>AF-4012D7</b>
個 数	3
備 考	幕板直線連結カバー取付用

### ■入隅コーナーキャップユニット ANK-PD4

部品	
姿 図	
品 名	入隅コーナーキャップ
品 番	<b>2K-37646</b>
個 数	1
備 考	—
品 名	皿タッピンねじ1種 (φ4×12)
品 番	<b>AF-4012D7</b>
個 数	4
備 考	—

### ■木栓ユニット ANK-PD5

部品	
姿 図	
品 名	木栓
品 番	<b>2K-37389</b>
個 数	10
備 考	—
品 名	なべドリルねじ (φ4×30)
品 番	<b>DN-4030</b>
個 数	10
備 考	—

### ■デッキ材小口ふさぎ材 ANK-PD6

部品	
姿 図	
品 名	デッキ材小口ふさぎ材
品 番	<b>2K-38176</b>
個 数	20
備 考	—

### ■デッキ材固定部品ユニット ABK-KB-#XA

部品			
姿 図			
品 名	皿タッピンねじ (φ4×40)	デッキ連結板	なべドリルねじ (φ4×19)
品 番	<b>AF-4040D7</b>	<b>3K-19553</b>	<b>DN-4019</b>
個 数	2	—	—
	3	—	—
	4	—	—
	7	10	2
備 考	デッキ材固定用	デッキ材連結用	デッキ連結板取付用

### ■施工治具ユニット ABK-P1

部品	
姿 図	
品 名	施工治具
品 番	<b>2K-35963</b>
個 数	16
備 考	デッキ材目地調整用



